

平成21年度北海道外来種対策検討委員会（第2回）会議次第

日時：平成22年3月16日（火）9：30～12：00

場所：ホテルノースイン札幌北農健保会館 3階特別会議室

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 北海道ブルーリスト2010（案）について

(資料1～3)

(2) 北海道ブルーリスト2010の活用（案）について

(資料4)

4 その他

5 閉会

【配付資料】

資料1 北海道ブルーリスト2010（案）に係る検討経過について

資料2 北海道ブルーリスト2010掲載種・カテゴリー区分等（案）について

資料3 北海道ブルーリスト2010概要版（案）について

資料4 北海道ブルーリスト2010の活用（案）について

【出席者名簿】

区分	専門分野	所 属 等	氏 名	備考
検討委員	哺乳類	元北海道大学農学部 教授	阿部 永	座長
	鳥類	帯広畜産大学 名誉教授	藤巻 裕蔵	
	爬虫類・両生類	北海道両生爬虫類研究所 所長	中林 成広	
	魚類	北海道大学大学院水産科学研究院 教授	帰山 雅秀	
	昆虫類	元北海道大学農学部 教授	久万田 敏夫	
	植物	北海道大学総合博物館 教授	高橋 英樹	
	情報処理	環境科学研究センター環境科学部主任研究員	高田 雅之	
府内委員	哺乳類	環境科学研究センター自然環境部道東地区野生生物室長	車田 利夫	
	魚類	水産孵化場 養殖病理部 養殖技術科長	内藤 一明	
	魚類（甲殻類）	稚内水産試験場 資源増殖部 資源増殖科長	川井 唯史	
	植物（全般）	環境科学研究センター 自然環境部 植物環境科長	西川 洋子	
	植物（水田）	中央農業試験場 技術普及部 主査（地域支援）	古原 洋	
事務局	北海道環境生活部環境局自然環境課参事	白野 輝		
	〃 特定生物G主幹	高橋 守		
	〃 主査（外来種）	猪川 周二		
	〃 主任	鈴木 徹		

## 北海道ブルーリスト改訂に係る検討経過について

## 1 検討の経過概要

(1) 平成20年度北海道外来種対策検討委員会 平成21年2月9日開催  
事務局から改訂方針案を説明後、意見交換を行った。

(平成21年7月から 文献調査等を開始)

(2) 平成21年度北海道外来種対策検討委員会(第1回) 平成21年12月10日開催

事務局から改訂の背景や目的を説明後、改訂方針を検討・決定した。

なお、具体的なカテゴリー区分及びカテゴリー区分の細区分等は、各専門部会で行うこととした。

区分	概 要
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外来種対策の基礎資料とするため平成16年3月に北海道の外来種リスト(北海道ブルーリスト)を作成し、道のホームページで公表しているが、外来生物法の制定などにより、近年、関係機関や市民団体等による<u>防除活動が進展</u>してきた。</li> <li>○ブルーリスト作成から<u>5年程度が経過</u>し、外来種に関する情報も蓄積されてきた。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リストの情報を充実させるとともにカテゴリー区分Aの種は、最新の知見により種毎に影響評価を行い、対策の優先度からA1～A3に細区分し公表することで外来種対策の効率的な推進に資する。</li> </ul>
方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掲載種 現行のブルーリスト掲載種806種をベースに文献調査及びインターネットを活用したペッターショップ調査を行い追加、削除を行う。</li> <li>○種のカテゴリー区分、細区分(P2～P3) 部会毎で必要に応じ一部修正も検討</li> </ul>
主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リストの更新・充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>①新規種の追加、掲載種の削除、種毎のカテゴリー区分の見直し</li> <li>②対策の優先度からカテゴリー区分AをA1～A3に細区分し公表</li> <li>③被害の恐れ等をチェックマーク方式から具体的記載に変更</li> <li>④特定外来生物の指定や日本の侵略的外来種ワースト100などの掲載の有無も記載</li> </ul> </li> <li>○ホームページの充実 道民からA1、A2種の新規分布についての情報を収集し、適宜、リストに反映 関係機関・団体の外来種防除イベントの開催情報を紹介し、防除への道民参加を促進など</li> </ul>

\* A1～A3の細区分については、平成17年度から平成19年度の検討委員会でも協議

## 【改訂のフロー】

北海道ブルーリスト2004 平成16年3月作成 掲載種 806種

- ①本来の移動能力を超えて人為によって移動
- ②明治時代以降に導入されたもの
- ③除外—動物園、家庭菜園など
- ④文献調査、ペッターショップ調査によりリストアップ後、次のカテゴリー区分に整理

## 【リ ス ト 掲 載】

A	B	C	D	E	(h)	K	FGHIJ
---	---	---	---	---	-----	---	-------

↓

北海道ブルーリスト2010 平成22年3月改訂 掲載種 ○○種

- ①から④同上

## 【リ ス ト 掲 載】

A1	A2	A3	B	C	D	E	(h)	K	FGHIJ
----	----	----	---	---	---	---	-----	---	-------

【未掲載】

【未掲載】

## カテゴリー区分及びカテゴリー区分Aの細区分について

\* \* \* \* \* 取消線及びアンダーラインの部分は、植物部会の検討を踏まえ訂正 \* \* \* \* \*

### ○カテゴリー区分

視点①	視点②	視点③	視点④	カテゴリー区分
本道に導入（※1）されて いるか	本道に定着できるか (越冬の可能性など)	本道に定着しているか	本道への影響（※2）は いる あるいは懸念されて いる △: 上記以外	
○: 導入されている △: 不明またははっきり しない ×: 導入されていない可能 性が高い	○: 定着できる (またはそのおそれが ある) ×: 定着できない可能 性が高い	○: 定着している △: 不明またははっきり しない ×: 定着していない可能 性が高い		
		○	○	A
		△	△	B
		△	○	C
		×	△	D
		×	○	E
	X	×	△	F
	X	○ (※3)	○	G
△・X	○	△	△	H
		△	○	
		×	○	
	X	×	△	I
				J
(昆蟲のみ)	導入されている	「室内昆蟲」である（※5）		K

### 【留意事項】

- ①カテゴリー区分に網がけしている種がブルーリスト掲載種
- ②動物は、実験・動物園利用などの封じ込め下での導入を除くこととし、ペット販売など、不特定多数の者が入手できるような形態は「導入」とした。
- また、植物は、農地・林地・園地や家庭菜園、花壇・宅地の庭などで栽培するための導入は除くこととした。
- なお、実験・動物園利用などの封じ込め下にある動物、農地・林地・園地や家庭菜園、花壇・宅地の庭などの人の管理下内で栽培されている植物については、リストに掲載しないこととした。

### (※1) 「導入」とは

野生生物本来の移動能力を超えて、人為によって意図的・非意図的に移動した（された）ことを指し、導入の時期については、原則として明治時代以降に本道に導入された生物種を外来種として捉える。

### (※2) 「影響」の例

- ・上位捕食者としての影響
- ・植生などへの影響
- ・競合、駆逐の可能性・交雑による遺伝的攪乱
- ・在来生物への病気、寄生虫の媒介
- ・農林水産業などへの影響
- ・人の健康への影響

### (※3)

この欄は、在来種である可能性があることにより、視点①を「△」とした場合に適用する。

### (※4) 「注意種」とは

導入される可能性が高く、導入されると定着し影響が懸念される等、特に注意が必要と考えられるもの

### (※5)

貯穀害虫などはA～Eなどに区分しにくいため、「室内害虫」としカテゴリー区分を「K」とする。

## ○カテゴリー区分Aの細区分

### 1 趣旨

北海道ブルーリストにリストアップされた〇〇種のうち、〇〇種が最も生態系等への影響が懸念されるカテゴリー「A」に区分されたことから、その影響の程度により3段階に細区分することで、対策の必要な種を明確化でき、北海道における対策の推進に資することができる。

○監視は、全てのランク（A 1～K）の種において必要とする

監視とは・・生息（生育）実態を把握すること

○防除は、A 1ランクの種において実施する

防除とは・・定着または拡散を防止するため、捕獲（除去）を行い適正に処分を行うこと

「A 1」：緊急に防除対策が必要な外来種

「A 2」：本道の生態系等へ大きな影響を及ぼしており、防除対策の必要性について検討する外来種

「A 3」：本道に定着しており、生態系等への影響が報告または懸念されている外来種

○植物については、原植生が比較的明確でその学術的価値が高く、保護が優先されるべき地域内においては、A 2及びA 3ランク植物についてもA 1とみなし、防除対策を推進する。

\*保護が優先されるべき地域

- ・原生自然環境保全地域
- ・国立、国定公園特別保護地区 など

### ○細区分イメージ図

【A 1】緊急に防除対策が必要な外来種

【A 2】本道の生態系等へ大きな影響を及ぼしており、  
防除対策の必要性について検討する外来種

【A 3】本道に定着しており、生態系等への影響が  
報告または懸念されている外来種

### 2 「A」区分の細区分の考え方

A 1、A 2の選定については、次の項目を考慮して選定することとする。

- ・検討委員又は府内委員から選出のあったもの
- ・ブルーリストのデータによる影響の大きな外来種
- ・外来生物法により特定外来生物又は要注意外来生物、未判定外来生物に指定されているもの
- ・「世界の侵略的外来種ワースト100」に選定されているもの
- ・「日本の侵略的外来種ワースト100」に選定されているもの

### 3 A2からA1への移行プロセス

A1に移行する際の評価手法としては、種の生息状況の把握、現行の法制度等による規制、資源としての利用実態、生態系への影響などの情報を収集し、当該種が生態系に与える影響が大きいため、運搬・飼養・栽培などに制限があること、駆除の必要があることなどを総合的に勘案した上で、A1ランクとして選定する。

(3) 平成21年度北海道外来種対策検討委員会 専門部会 平成22年1月～2月開催  
6つの専門部会（①哺乳類、②鳥類、③両生・爬虫類、④魚類、昆虫以外の無脊椎動物、  
⑤昆虫、⑥植物）を開催し、次により新規掲載種、掲載削除種、カテゴリー区分・細区分の検討を行った。

○事務局で検討が必要な種を抽出し、部会で新規掲載・掲載削除種の検討、カテゴリー区分・細区分の見直しを行う。（併せて理由も整理する。）

- ①既掲載種のカテゴリー区分・細区分の変更の検討
- ②新規掲載種の検討及び新規掲載種のカテゴリー区分・細区分の検討
- ③ペット販売種の掲載検討及び新規掲載種のカテゴリー区分・細区分の検討
- ④掲載削除種の検討

【検討にあたっての留意事項】 12月10日の検討委員会の検討を踏まえ作成

- ①カテゴリー区分を行う際の4つの視点を以下のように変更  
導入されていない→導入されていない可能性が高いなど
- ②カテゴリー区分Aの細区分のA2からA1の移行プロセスを以下のように変更  
・・・本道に一定数生息しを削除
- ③野外で過去に確認されているものの記録が少なく現在確認されていないものは、基本的に定着していないと判断するが、分類群毎に状況が異なるため部会で判断する。
- ④ペットショップ販売されている種で野外で確認されていない種は、基本的に特定外来生物、要注意外来生物、未判定外来生物、日本の侵略的外来種ワースト100、世界の侵略的外来種ワースト100の5項目のいずれかにあげられているものを検討の対象とするが、専門部会で生態系への影響等から必要と認めた種については、検討の対象とする。

◎各専門部会の検討結果概要については、次のとおり

①哺乳類部会 (H 22.2.1 開催)

【哺乳類：25種→25種（新規+1、削除-1）】

既掲載でカテゴリー区分変更等を行う種

- キタリス

新規掲載を行う種

- ハリネズミ属の全種

ペットショップで商品名「ハリネズミ」の販売を確認。販売されていたものは、特定外来生物のハリネズミ属ではなく、ヨツユビハリネズミなどと思われるが、注意喚起のため掲載。

削除等を行う種

- オオポッサム

過去(1992年に帯広で遺棄個体と思われる個体を収容) 1件の情報があるのみで、近年は確認情報がないため削除

\*今後、遺棄個体等の情報が確認された場合は、速やかに掲載

亜種の統合等を行う種

- なし

②鳥類部会 (H 22.1.29 開催)

【鳥類：8種→8種（新規+1、統合-1）】

既掲載種のカテゴリー区分変更等

- ヤマドリ
- アイガモ
- カササギ

新規掲載種

- コクチョウ

2004年頃から道内各地（知床岬沖、宮島沼など）で飛来が目撃されている。オーストラリアなどから本州の庭園などに導入され繁殖したものが飛来してきたと思われる。

削除種

- なし。

亜種の統合等を行う種

- ヤマドリ(ヤマドリ)、ヤマドリ(ウスアカヤマドリ)→ヤマドリ(ヤマドリ、ウスアカヤマドリ)

分布情報がヤマドリ、ウスアカヤマドリで一部特定できないものが出てきたため統合

\*なお、亜種毎の情報は、個表で整理して記載。

既掲載種のカテゴリー区分変更
<input type="checkbox"/> カミツキガメ <input type="checkbox"/> ニホンスッポン
新規掲載種
<input type="checkbox"/> チュウゴクスッポン <input type="checkbox"/> トゲスッポン <input type="checkbox"/> アムールカナヘビ <input type="checkbox"/> タカチホヘビ (野外では確認されておらず、また、チュウゴクスッポン(ペットでの導入を確認)を除き道内への導入も確認されていないが、ペット導入の可能性があり、導入され野外に逸出した時は、生態系への影響が懸念される。)
削除種
なし。
亜種の統合等を行う種
<input type="checkbox"/> 既掲載種のニホンスッポンと新規掲載亜種のチュウゴクスッポンは同種であるため統合し、チュウゴクスッポン(チュウゴクスッポン、ニホンスッポン)として掲載
その他
<input type="checkbox"/> 新規種掲載候補としてワニガメ(2007年三笠市で1件捕獲)があげられたが、本道に定着できない可能性が高い(温帯でもかなり暖かい地方に生息する)ためカテゴリー区分Gとなり、リスト掲載しないこととなった。 <input type="checkbox"/> 同様にペットとしての販売が確認されたグリーンイグアナ、ハナガメについても本道に定着できない可能性が高いためカテゴリー区分Gとなり、リスト掲載しないこととなった。

## 【両生類 16種→19種(新規+4、削除-1)】

既掲載種のカテゴリー区分変更
<input type="checkbox"/> アカハライモリ <input type="checkbox"/> ニホンアカガエル <input type="checkbox"/> モリアオガエル
新規掲載種
<input type="checkbox"/> ヨーロッパミドリヒキガエル <input type="checkbox"/> ハクバサンショウウオ <input type="checkbox"/> ヒダサンショウウオ <input type="checkbox"/> チョウセンヤマアカガエル (野外で確認されておらず、また、道内への導入も確認されていないが、ペット導入の可能性があり、導入され野外に逸出した時は、生態系への影響が懸念される。)
削除種
<input type="checkbox"/> ダルマガエル(ナゴヤダルマガエル) ダルマガエル(トウキョウダルマガエル)が掲載されており、同亜種のナゴヤダルマガエルについては、北日本で分布が確認されていないため削除
亜種の統合等を行う種
なし。
その他
<input type="checkbox"/> 新規種掲載候補としてプレーンズヒキガエル(導入は確認されていないが、違法にペット導入され野外に逸出した時は、生態系への影響が懸念される。)もあげられたが、特定外来生物として法規制されており導入の可能性が極めて低いことから掲載しないこととした。

## 既掲載種のカテゴリー区分変更

- カワマス ロングノーズガー スポットテッド・ガー ヨーロッパウナギ ソウギョ
- ノーザンパイク マスノスケ グッピー ナイルティラピア

## 新規掲載種

- アリゲーター・ガー  
2007年に石狩川本流滝川市付近で遺棄と思われる個体が1匹捕獲された。

## 削除種

- なし

## 亜種の統合等を行う種

- なし

## その他

ニジマス（平成19年度までの検討ではA2）について、一部の委員からA1として検討すべきとの意見があつたが、最終的に事務局意見によりA2のままとすることとした。

委員：アメマス、オショロコマ、イトウとの置き替わり

道東河川でのニジマスによるイトウの産卵礁の掘り返し

IUCNの侵略的外来種ワースト100 他の研究者達の意見 など

事務局：法や利用の実態（漁業権漁業、遊漁）もあり、総合的な判断として、A1とすることはできない。また、現実に防除も進まないと思われる。今後の研究等に充分注意することとした。なお、イトウ保護の問題としての検討は進めたい。

カワマス（平成19年度までの検討ではA3）についても、一部の委員からアメマスとの交雑による遺伝的攪乱等の問題があり、A1として検討すべきとの意見があつたが、検討の結果、分布が限られていることから、A2とし、今後、他のA2種と併せて情報収集を行うこととした。

シルバーアロワナ、アジアアロワナについては、2001年に南幌温泉沼などで死個体が確認されたが、本道に定着できない可能性が高いためカテゴリー区分Gとなり、リスト掲載しないこととなった。

道内でペット販売が確認されたコウタイ、ナイルパーク、マーレーコッドについても、本道に定着できない可能性が高いためカテゴリー区分Gとなり、リスト掲載しないこととなった。

外来生物法の施行前にペット販売されていた特定外来生物のケツギョ、コウライケツギョ、マスキーパイクについては、野外でも今回のペットショップ調査で確認されておらず、特定外来生物として法規制されており導入の可能性が極めて低いことから掲載を行わないこととした。

## 【昆虫以外の無脊椎動物 28種→33種（新規+5）】

## 既掲載種のカテゴリー区分変更

- インドヒラマキガイ オナジマイマイ

## 新規掲載種

- ミステリークレイフィッシュ（マーブルクレイフィッシュ）  
2007年に札幌市内の公園で発見された。

- カワリヌマエビ属（シナヌマエビ、ミナミヌマエビ）  
札幌市近郊の河川で本種と思われるものが採取された。

- サキグロタマツメタ

北海道では、確認されていないが岩手県等で確認されている。導入されれば貝類への影響の恐れがある。

ヌマエビ属（ヌマエビ北中部群/ヌマエビ南部群/ヌカエビ）  
札幌市近郊の河川で採取された。

- カイヤドリウミグモ

北海道では、確認されていないが福島県等で確認されている。導入されれば貝類の影響の恐れがある。

## 削除種

- なし。

## 亜種の統合等を行う種

- なし。

## その他

- カワリヌマエビの個体の影響について、病原菌を運ぶ恐れについては、まだ、学術的に証明されておらず、複数の研究者が提起している主要な論等でないため削除

## ⑤昆虫部会 (H 22.2.12 開催)

【昆 虫：89種→90種（新規+3、削除-2）】

## 既掲載種のカテゴリー区分変更等（既存リスト及び平成19年度のAの細区分からの変更）

- アシグロハモグリバエ ウシバエ ワタムシヤドリコバチ オオタコゾウムシ
- イセリアカイガラムシ カラマツチャイロヒメハマキ カラマツミキモグリガ
- オオクワガタ\*本州産 ヘイケボタル\*本州産 ゲンジボタル

## 新規掲載種

- アカボシゴマダラ  
2008年に札幌市内の公園で確認された。
- スグリコスカシバ  
2007年に余市町、長沼町で確認された。
- オリーブアナアキゾウムシ  
2008年に千歳市の街路樹への寄宿が確認された。

## 削除種

- なし。

## 亜種の統合等を行う種

- なし。

## その他

稻だけに付いて田んぼから出ないような種の農業害虫について、封じ込め下の導入と類似のものとして新たなカテゴリー区分を設けるか検討したが、類似の種として特定の木につく林業害虫も含めて考えた場合、人為の環境下内にのみ限定して定着と言い切れない部分もあることから、前回のリストと同様とし、新たなカテゴリー区分を設けないこととした。

## ⑥植物部会

【植物：598種→639種（新規+70、削除-29）】

## 既掲載種のカテゴリー区分変更等

- ノハラサンシキスミレ ホタルブクロ など179種  
 （傾向として、影響について、具体的に記載することとしたが、文献等の情報が得られなかつた種も多く、AからBに変更となる種や、発見はされたが、その後確認できず、BからDに変更となる種も多かった多い結果となった。）

## 新規掲載種

- ニンニクガラシ  
2007年札幌市で確認された。
- シロバナチョウセンアサガオ  
1979年北見で確認された。 など 70種

## 削除種

- ノゲシ、ツユクサなど29種  
(文献などで明治前の存在が確認されたため)

## 亜種の統合等を行う種

- なし。

## その他

- カテゴリー区分の定義で「植物は、農地・林地・園地や家庭菜園、花壇・宅地の庭などで栽培するための導入は除くこととした。」は、わかりにくいで訂正するよう意見があった。
- 防除の取り組みの実態を踏まえカテゴリー区分の細区分について、  
原植生が比較的明確でその学術的価値が高く、保護が優先されるべき地域内として、  
原生自然環境保全地域、国立、国定公園 特別保護地区など と「など」をつけることとした。  
また、同地域内において、A1とみなし防除対策を行うランクをA2とした。

【合計：806種→860種（新規+89、削除等-35）】

## (4) 今後の予定

3月末まで 個表の精査等 → 改訂完了

4月 北海道ブルーリスト概要版作成等

5月 ホームページで公表

## 北海道ブルーリスト2010掲載種・カテゴリー区分等案について

分類群	種数	内訳											
		原産地の区分			カテゴリー区分								
		国外	国内	不明	A1	A2	A3	B	C	D	E	h	K
哺乳類	25	18	7	-	2	2	8	1	2	-	6	4	-
鳥類	8	5	3	-	-	-	3	2	3	-	-	-	-
爬虫類	10	3	7	-	-	1	-	-	2	-	2	5	-
両生類	19	2	17	-	-	1	4	-	-	-	3	11	-
魚類	36	24	12	-	2	2	12	7	6	4	3	-	-
昆虫	90	40	26	24	1	1	46	-	17	1	2	1	21
昆虫以外の無脊椎動物	33	29	3	1	1	2	14	-	6	-	2	8	-
植物	639	599	36	4	-	17	106	409	-	107	-	-	-
合計	860	720	111	29	6	26	193	419	36	112	18	29	21

## 【参考－北海道ブルーリスト2004の選定結果】

分類群	種数	内訳											
		原産地の区分			カテゴリー区分								
		国外	国内	不明	A	B	C	D	E	h	K		
哺乳類	25	18	7	-	12	1	1	1	7	3			
鳥類	8	4	4	-	4	-	4	-	-	-			
爬虫類	7	2	5	-	1	-	3	-	-	3			
両生類	16	1	15	-	5	-	-	-	-	11			
魚類	35	23	12	-	14	9	3	7	1	1	-		
昆虫	89	40	25	24	43	2	16	-	2	5	21		
昆虫以外の無脊椎動物	28	26	2	-	17	-	4	-	1	6			
植物	598	519	31	48	408	171	6	2	10	1			
合計	806	633	101	72	504	183	37	10	21	30	21		

## 哺乳類

2004年(現リス)

ア哺乳類

(ア)国外外来種(18種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
ウサギ ネズミ	ウサギ	カイウサギ シマリス(チヨウセンシマリス) アメリカモモンガ タイリクモモンガ オオアメリカモモンガ フレーニットッグの一種 キタリス	A C E E E B D C A	A3へ 19年度海区分同 A3へ E E E B C Dから h
	リス	リス	E	
	ネズミ	ネズミ	E	
	ハイイロリス	ハイイロリス	B	
	ドブネズミ	ドブネズミ	D	
	クマネズミ	クマネズミ	C	
	ハツカネズミ	ハツカネズミ	A	
	アライグマ	アライグマ	A	
	イタチ	ミク	A	
	ネコ	フェレット	E	
ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン	A	
	オボッサム	オボッサムの一種	E	
	クスクス	クスクス	E	
	フクロネズミ	フクロモモンガの一種	E	
フクロネズミ	フクロモモンガ	フクロモモンガの一種	E	
	ハリネズミ形	ハリネズミ	E	新規



(ア)国内外来種(18種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
ウサギ ネズミ	ウサギ	カイウサギ シマリス(チヨウセンシマリス) アメリカモモンガ タイリクモモンガ オオアメリカモモンガ フレーニットッグの一種 キタリス	C E E E E B D C Dから h	C E E E B C Dから h
	リス	リス	E	
	ネズミ	ネズミ	E	
	ハイイロリス	ハイイロリス	B	
	ドブネズミ	ドブネズミ	D	
	クマネズミ	クマネズミ	C	
	ハツカネズミ	ハツカネズミ	A	
	アライグマ	アライグマ	A	
	イタチ	ミク	A	
	ネコ	フェレット	E	
ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン	A	
	オボッサム	オボッサムの一種	E	
	クスクス	クスクス	E	
	フクロネズミ	フクロモモンガ	E	
フクロネズミ	フクロモモンガ	フクロモモンガの一種	E	
	ハリネズミ形	ハリネズミ	E	新規

(イ)国内外来種(7種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
ネコ	イヌ	イヌ	A	A3
	イタチ	テン	A	19年度海区分同
	ネコ	ニホンイタチ	A	A2
	ウシ	ネコ	A	19年度海区分同
	モグラ	イノシシ	A	A3
	コウモリ	モグラ	A	19年度海区分同
	ヒナコウモリ	二ホンジネズミ	A3	
	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	h	
	ヒナコウモリ	イエコウモリ	h	
	ヒナコウモリ	イエコウモリ	h	

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
ネコ	イヌ	イヌ	A	A3
	イタチ	テン	A	19年度海区分同
	ネコ	ニホンイタチ	A	A2
	ウシ	ネコ	A	19年度海区分同
	モグラ	イノシシ	A	A3
	コウモリ	モグラ	A	19年度海区分同
	ヒナコウモリ	二ホンジネズミ	A3	
	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	h	
	ヒナコウモリ	イエコウモリ	h	
	ヒナコウモリ	イエコウモリ	h	

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

<エゾタヌキとエゾシカの道内導入>  
哺乳類では、道内導入として、タヌキ(エゾタヌキ)の本島から奥尻島への導入、二ホンジカ(エゾシカ)の本島から洞爺湖中島への導入があり、それぞれ島の生態系等へ影響を与えている。

<エゾタヌキとエゾシカの道内導入>  
哺乳類では、道内導入として、タヌキ(エゾタヌキ)の本島から奥尻島への導入、二ホンジカ(エゾシカ)の本島から洞爺湖中島への導入があり、それぞれ島の生態系等へ影響を与えている。

種名(亜種名:\*)の網掛けは新規、カテゴリー区分の網掛けはランク変更

## 鳥類

2004年(現リスト)

イ鳥類

(ア)国外外来種(4種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	科名	カテゴリー区分	備考
カモ	カモ	コブハクチヨウ コシユケイ(コシユケイ) キジ(コウライキジ)	カモ	A3へ C A3へ	A3 19年度細区分同 新規
キジ	キジ	キジ	キジ	A3へ	C 19年度細区分同
ハト	ハト	ハト	ハト	A3へ	A3 19年度細区分同

(イ)国内外来種(4種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	科名	カテゴリー区分	備考
キジ	キジ	ヤマドリ(ヤマドリ) ヤマドリ(ウスアカヤマドリ)	キジ	Bへ C	統合、Cから
カモ	カモ	アイガモ	カモ	Bへ	Aから
スズメ	カラス	カササギ(カササギ)	カラス	Cへ Bへ	Cから

(イ)国内外来種(3種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	科名	カテゴリー区分	備考
カモ	カモ	コブハクチヨウ コシユケイ(コシユケイ) キジ(コウライキジ)	カモ	A3へ C A3へ	A3 19年度細区分同 新規
キジ	キジ	キジ	キジ	A3へ	C 19年度細区分同
ハト	ハト	ハト	ハト	A3へ	A3 19年度細区分同

(ア)国外外来種(5種)

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

# 爬虫類

2004年(策リスト)

## ウ爬虫類

### (ア) 国外外来種(2種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
カメ ヌマガメ	アカミミガメ(ミシツビアカミミガメ)	A	A2へ	
カミツキガメ	カミツキガメ	C	Eへ	

### (イ) 国内外来種(5種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
カメ ヌマガメ	クサガメ	クサガメ	C	C
スッポン	ニホンイシガメ	ニホンイシガメ	C	C
ナミヘビ	ニホンスッポン	ニホンスッポン(チカラヨクスンボン・ニホンスンボン)	統合-Eへ	新規、統合
有鱗	ヒバカリ(ヒバカリ) ヤマカガシ(ヤマカガシ)	カナヘビ ナミヘビ	アムールカナヘビ タガチホヘビ ヒバカリ(ヒバカリ) ヤマカガシ(ヤマカガシ)	ヒ ナミヘビ ヒバカリ(ヒバカリ) ヤマカガシ(ヤマカガシ)

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

- (\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載  
 種名(亜種名:\*)の網掛けは新規、カテゴリー区分の網掛けはランク変更

2010年(判定基)

## ウ爬虫類

### (ア) 国外外来種(3種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
カメ ヌマガメ	ヌマガメ	アカミミガメ(ミシツビアカミミガメ)	A2	19年度細区分同
カミツキガメ	カミツキガメ	カミツキガメ	E	Cから 新規

### (イ) 国内外来種(7種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
カメ ヌマガメ	ヌマガメ	クサガメ	C	C
スッポン	スッポン	ニホンイシガメ	C	C
ナミヘビ	ナミヘビ	カナヘビ	アムールカナヘビ	新規
有鱗	有鱗	ナミヘビ	タガチホヘビ ヒバカリ(ヒバカリ)	タガチホヘビ ヒバカリ(ヒバカリ)
			ヤマカガシ(ヤマカガシ)	ヤマカガシ(ヤマカガシ)
			h	h

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

- 種名(亜種名:\*)の網掛けは新規、カテゴリー区分の網掛けはランク変更

類生兩

2004年(現リス)

2010年(改定案)

工兩生類

(ア) 国外外来種(1種)

### (ア) 国外外来種(2種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
無尾	アガガエル	ウシガエル	A	A2へ

### (1) 国内外来種(15種)

(ア) 国外外来種(2種)

目名	科名	種名(垂種名:*)	カテゴリー区分	備考
無尾	アカガエル	ウシガエル	A2	15年度細分同 新規
	ヒキガエル	ヒロソミコトニキガエル		

### (1) 国内外来種(17種)

目名	科名	種名(垂種名:*)	カテゴリー区分	備考
有尾 無尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	h	
		クロサンシンショウウオ	h	
	イモリ	ハコネサンショウウオ	h	
	ヒキガエル	アカハライモリ	h	Eへ
		ニホンヒキガエル(アズマヒキガエル)	A	A3へ
		ニホンアカヒキガエル	h	Eへ
		トノサマガエル	A	A3へ
		ヤマアカガエル	h	別称(西日本通称)
	アカガエル	ダルマガエル(ナコヤダルマガエル)	h	
		ダルマガエル(トウキヨタリガエル)	A	A3へ
アオガエル		ツチガエル(タコガエル)	A	A3へ
		カジカガエル	h	
モリ	モリアオガエル	モリシゲガエルアオガエル	h	Eへ
		シコリゲガエル	h	

### (1) 国内外来種(17種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
有尾	サンショウウオ	トクホクサンショウウオ	h	Hypobius属 4種として両表を作成
		クロサンショウウオ	h	
		ハクハサンショウウオ	h	
		ヨシナシショウウオ	h	
		ハコネサンショウウオ	h	
		イモリ	アハライモリ	hから
		ヒキガエル	ニホンヒキガエル(アスマヒキガエル)	A3 19年度細区分同
		トサマガエル	トサマガエル	A3 19年度細区分同
		タルマガエル(トウキヨウダルマガエル)	タルマガエル	A3 19年度細区分同
		ツチガエル	ツチガエル	A3 19年度細区分同
無尾		ニホンアカガエル	ニホンアカガエル	hから
		ヤマアカガエル	ヤマアカガエル	h
		タコガエル(タコガエル)	タコガエル	h
		モリヒシダヌカガエル	モリヒシダヌカガエル	新規
		モリアオガエル	モリアオガエル	h
		カジカガエル	カジカガエル	h
アオガエル		シユレーデルオガエル	シユレーデルオガエル	h
		アオガエル	アオガエル	h

\*) 品種が問題となつている場合は、カッコ内に品種名を記載

\*) 亞種が問題となつてゐる場合は、カッコ内に亜種名を記載

種名(亜種名:\*)の網掛けは新規、カテゴリー区分の網掛けはランク変更

# 魚類

2004年 現リスト)

才魚類

2010年(既定案)

才魚類

## (ア)国内外来種(23種)

目名	科名	種名(並種名:*)	カテゴリー区分	備考
ガードガー		ロングノーズ・ガードガー	D	Eへ
ウナギ		スポットテッド・ガードガード	D	Eへ
コイ		ヨーロッパウナギ	D	Cへ
カワカマス		タリク・バラタナゴ	A	A3へ
サケ		ソウギョウ	E	Cへ
スズキ		オオウオ	D	Cへ
カダヤシ		キンギョ	A	A3へ
スズキ		ノーザン・パイク	D	Eへ
カムルチ		カワカラマス	A	A1へ
サケ		ブランクトラウト	A	A2へ
カワマス		ニジマス	A	A2へ
コイ		マスノスケ	B	Dへ
カムルチ		ギンザケ	C	
カムルチ		シナノユキマス	D	
カムルチ		コレゴヌス・ペレット	D	
カダヤシ		カダヤシ	B	A3へ
スズキ		コクチモーリー	B	A1へ
カムルチ		フルーギル	C	
カムルチ		オオクチバス	C	
カムルチ		コクチバス	B	
カムルチ		カワスズメ	B	
カムルチ		ナイルティラピア	A	A3へ
カムルチ		ナイルテラピア	A	A3へ
カムルチ		カムルチ	A	A3へ

## (イ)国内外来種(12種)

目名	科名	種名(並種名:*)	カテゴリー区分	備考
コイ		ドジョウ	B	
コイ		ゲンゴロウブナ	A	A3へ
コイ		タモロコ	A	A3へ
コイ		オイカワ	B	
コイ		モツコ	A	A3へ
コイ		シナイモツコ	B	
コイ		アブラハヤ	B	
ナマズ		キンブナ	A	
ナマズ		ナマズ	A	A3へ
サケ		サクラマス(アマゴ)	A	A3へ
タツ		メダカ	B	

## (ア)国内外来種(24種)

目名	科名	種名(並種名:*)	カテゴリー区分	備考
ガードガー		アリガータガードガード	C	新規
ウナギ		スポーツテッド・ガードガード	E	Dから
コイ		ヨーロッパウナギ	E	Dから
カワカマス		タイリク・バラタナゴ	C	Dから
サケ		ソウギョウ	A3	19年度細区分同
スズキ		アオウオ	D	Eから
カムルチ		キンギョ	A3	19年度細区分同
カムルチ		ノーザン・パイク	E	Dから
カムルチ		ブラックトラウト	A1	19年度細区分同
カムルチ		ニジマス	A2	19年度細区分同
カムルチ		カワマス	A2	19年度細区分同
カムルチ		マスノスケ	D	Eから
カムルチ		ギンザケ	C	
カムルチ		シナノユキマス	D	
カムルチ		コレゴヌス・ペレット	D	
カムルチ		グッピー	A3	Bから
カムルチ		コクチモーリー	B	
カムルチ		ブルーギル	A1	19年度細区分同
カムルチ		オオクチバス	C	
カムルチ		コクチバス	C	
カムルチ		カワスズメ	B	
カムルチ		ナイルテラピア	A3	Bから
カムルチ		ナイルテラピア	A3	19年度細区分同
カムルチ		カムルチ	A3	19年度細区分同

目名	科名	種名(並種名:*)	カテゴリー区分	備考
コイ		ドジョウ	B	
コイ		ゲンゴロウブナ	A3	19年度細区分同
コイ		タモロコ	A3	19年度細区分同
コイ		オイカワ	B	
コイ		モツコ	A3	19年度細区分同
コイ		シナイモツコ	B	
コイ		アブラハヤ	B	
ナマズ		キンブナ	A3	19年度細区分同
ナマズ		ナマズ	A3	19年度細区分同
サケ		サクラマス(アマゴ)	A3	19年度細区分同
タツ		メダカ	B	

田  
賦

2004年(現刊)

2010年(改定案)

(了) 国外外来種(40種)

(ア) 国外外来種(40種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	区分	カテゴリー	備考
りんし 鱗翅	ヒトリガ シロチャヨウ	アメリカシロヒトリ オオモジシロチヨウ	A	A3へ	
	セセリチャヨウ	カラフトセセリ	A	A3へ	
	メイガ	三カメイガ	A	A3へ	
	ハマキガ	ボケヒメシンクイまたばスモモヒメシンクイ	A	A3へ	
	キバガ	ハクガ	A	A3へ	
そうし 双翅	ヒロズコガ ショウジョウハエ	イガ オナジヨウジョウハエ	K A	A3へ	
	ハモグリハエ	マメハモグリハエ カーネーションハモグリハエ	C C	A3へ	
	ハナアブ	アシグロハモグリハエ スイセンハナアブ	C A	A3へ	
	ヒツジハエ	ヒツジハエ	A	A3へ	
	ヒフハエ	ウシハエ	h	Cへ	
まくし 膜翅	クロハエ	ホホアカクロロハエ	A	A3へ	
	ミツバチ	セイヨウオオマルハナバチ	A	A1へ	
	タマバチ	クリタマバチ	A	A3へ	
	ツヤコバチ	ワタムシヤドリコバチ	C	Dへ	
	カタピロコバチ	クローバータネコバチ	C		
じょうし 鞘翅	ハバチ	オウツウナメグリハバチ	C		
	ゾウムシ	アカウキクサノウムシ イネミズノウムシ オオタコソウムシ	A A C	A3へ A3へ A3へ	
	ゴミムシ	キンシケチドツウムシ ケチビコフキソウムシ サビチビコフキソウムシ	A A A	A3へ A3へ A3へ	
	コガネムシ	コリアトキリコミムシ アラスオカブトムシ タイワンシカンブトムシ	A A	A3へ A3へ	
	はんし 半翅	アブラムシ カタカイガラムシ コナジラミ マルカイガラムシ ワタフキカイガラムシ	A A A A C	A3へ A3へ A3へ A3へ C	
そし 総翅	アザミウマ	オシシコナジラミ オシマルカイガラムシ	A C	A3へ hへ	
	ちよくし 直翅	クラジオラスマザミウマ チヤンキロアザミウマ ミカシキロアザミウマ	C C C		
	コオロギ	ヨーロッパイエコオロギ	C		

卷之三

2004年(明川ノミ)

公司中層幹部（05班）

2010年五上

(1)国内外来種(26種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
りんし 鱗翅	ハマキガ	カラマツイトヒキハマキ	A	A3へ
	ツツミノガ	カラマツヒメハマキ	A	A3へ
	メイガ	カラマツチャイロヒメハマキ	B	A3へ
	ヒラハバチ	カラマツミキモグリガ	B	A3へ
	ニホンカラマツヒラタハバチ	カラマツツツミノガ	A	A3へ
	ハバチ	カシノシマメイガ ノシメダラメイガ(ノシメコクガ)	A	A3へ
まくし 膜翅	ハナビエ	カラマツタキハバチ	A	A3へ
	ミツバチ	オオマルハナバチ(オオマルハナバチ) コマルハナバチ(コマルハナバチ)	E	
	ヒラハバチ	カラマツヒラタハバチ	A	A3へ
	ハバチ	ニホンカラマツヒラタハバチ カラマツキハラハバチ	A	A3へ
	ハバチ	カラマツアカラハバチ	A	A3へ
	ミスジヒメカラマツハバチ	ミスジヒメカラマツハバチ	A	A3へ
しょうし 鞘翅	オサムシ	アオオサムシ	A	A3へ
	コガネムシ	カブトムシ	A	A3へ
	クワガタムシ	オオクワガタ*本州産	h	Cへ
	ホタル	ヘイケボタル	h	Cへ
	アブラムシ	ゲンジボタル	h	Cへ
	アブラムシ	カラマツカサアブラムシ	A	A3へ
はんし 半翅	アブラムシ	カラマツオオアブラムシ	A	A3へ
	アブラムシ	カラマツイボオオアブラムシ	A	A3へ
	アブラムシ	カラマツキオオアブラムシ	A	A3へ
	アブラムシ	カラマツヒビオオアラムシ	A	A3へ

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー	備考
りんし 鱗翅	カラマツイトヒキハマキ	A3	19年度細区分同	
	カラマツヒメハマキ	A3	19年度細区分同	
	カラマツチャイロヒメハマキ	A3	日から	
	カラマツミキモグリガ	A3	日から	
	ツツミノガ	A3	19年度細区分同	
マイガ	カラマツツツミノガ	A3	19年度細区分同	
	カシノシマメイガ	A3	19年度細区分同	
	ノシメマダラメイガ(ノシメコクガ)	A3	19年度細区分同	
まくし 双翅	カラマツタネバエ	A3	19年度細区分同	
	オオマルハナバチ(オオマルハナバチ)	E		
	コマルハナバチ	E		
	カラマツヒラタハバチ	A3	19年度細区分同	
	ニホンカラマツヒラタハバチ	A3	19年度細区分同	
ヒラタハバチ ハバチ	カラマツキハラバチ	A3	19年度細区分同	
	カラマツハラアカハバチ	A3	19年度細区分同	
	ミスジヒメカラマツハバチ	A3	19年度細区分同	
	オサムシ	A3	19年度細区分同	
	ゾウムシ	A3	新規	
じょうし 鞘翅	オリニアブナーキソウムシ	A3		
	コガネムシ	A2	19年度細区分同	
	クワガタムシ	C	hから	
	ホタル	C	hから	
	ゲンジボタル	C	hから	
はんし 半翅	カサアブラムシ	A3	19年度細区分同	
	アブラムシ	A3	19年度細区分同	
	カラマツイボオアブラムシ	A3	19年度細区分同	
	カラマツミキオアブラムシ	A3	19年度細区分同	
	カラマツチビオアブラムシ	A3	19年度細区分同	

昆虫

2004年(現リス)

2010年(改定案)

(ウ)不明(24種)

(ウ)不明(24種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
りんし 鱗翅	メイガ	スジコナマダライガ スジマダライガ コメノシマメイガ	A A A	A3へ A3へ A3へ
ハマキガ		ナシヒメシングイ	A	A3へ
しょうし 鞘翅	オサゾウムシ ハムシ	ココクゾウムシ アズキマメゾウムシ インゲンマメゾウムシ エンドウゾウムシ ゴミムシダマシ	K K K K K	K K K K K
ケシキスイ カツコウムシ		コメノゴミムシダマシ クリロデオキスイ アカクビホシカムシ	K K	K K
ナガシンクイムシ		ケフトヒラタキクイムシ チビタケナガシンクイ ナラヒラタキクイムシ	K K K	K K K
チャタテムコナチャタテ		ヒラタキクイムシ	K	K
もうし 網翅	ゴキブリ	カツブシチャタテ ウルシゴキブリ クロゴキブリ コワモンゴキブリ トビイロゴキブリ ワモンゴキブリ チャバネゴキブリ ヨウランゴキブリ	K K K K K K K K	K K K K K K K K
そうび 総尾	シミ	セイヨウシミ	K	K

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
りんし 鱗翅	メイガ	スジコナマダライガ スジマダライガ コメノシマメイガ	A3 A3 A3	19年度細区分同 19年度細区分同 19年度細区分同
ハマキガ		ハマキガ		A3
しょうし 鞘翅	オサゾウムシ ハムシ	ナシヒメシングイ オサゾウムシ アズキマメゾウムシ インゲンマメゾウムシ エンドウゾウムシ ゴミムシダマシ ケシキスイ カツコウムシ	K K K K K K K K	K K K K K K K K
ケシキスイ カツコウムシ		コメノゴミムシダマシ クリロデオキスイ アカクビホシカムシ	K K	K K
ナガシンクイムシ		ケフトヒラタキクイムシ チビタケナガシンクイ ナラヒラタキクイムシ	K	K
ヒラタキクイムシ		ヒラタキクイムシ	K	K
チャタテムコナチャタテ		カツブシチャタテ	K	K
もうし 網翅	ゴキブリ	ウルシゴキブリ クロゴキブリ コワモンゴキブリ トビイロゴキブリ ワモンゴキブリ チャバネゴキブリ ヨウランゴキブリ	K K K K K K K	K K K K K K K K
そうび 総尾	シミ	セイヨウシミ	K	K

(\*)亜種が問題となつてゐる場合は、カッコ内に亜種名を記載

種名(亜種名:\*)の網掛けは新規、カテゴリー区分の網掛けはラシク変更

昆蟲以外の無脊椎動物

## 2004年(現リスト) キル虫以外の無脊椎動物(甲殻類、軟體動物など)

(ア) 国外外来種(26種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
むへい 舞柄	フジツボ	キタアメリカフジツボ	A	A3へ
じゅつきやく 十脚	ザリガニ	ウチダザリガニ	A	A1へ
	アヌカザリガニ	アヌカザリガニ	A	A3へ
げんしちょうぜつ 原始盤舌	リンゴガイ	スクミリンゴガイ	C	
ばんそく 盤足	ミズツボ カリバガサガイ	コモチカワツボ シマメノウフネガイ	h A	A3へ
きがん 基眼	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	A	A3へ
ヒラマキガイ	コシタカヒメモノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	A	A3へ
サカマキガイ	サカマキガイ	サカマキガイ	h	
ヒラマキガイ	インジラマキガイ	トクサオカチヨウジガイ	A	A2へ
オカチヨウジガイ	ボリオカチヨウジガイ	ボリオカチヨウジガイ	C	Eへ
コハクガイ	コハクガイ	コハクガイ	A	A3へ
コウラナメクジ	ウスグチベッコウ	ウスグチベッコウ	A	A3へ
ハラナメクジ	コウラナメクジ	コウラナメクジ	A	A3へ
オナシママイ	チャコウナメクジ	チャコウナメクジ	A	A3へ
イガイ	ハラナメクジ	ハラナメクジ	A	Cへ
マルスダレガイ	オナシママイ	オナシママイ	A	A3へ
カワホドトギスガイ	ムラサキイガイ	ムラサキイガイ	A	A3へ
カイダマシ	コウロエンカワヒバヒガイ	コウロエンカワヒバヒガイ	h	
	カワヒバリガイ	カワヒバリガイ	h	
	淡水産イガイの一種	淡水産イガイの一種	E	
シジミガイ	シジミガイの一種	シジミガイの一種	C	
マルスダレガイ	ホンビノスガイ	ホンビノスガイ	h	
カワホドトギスガイ	カイダマシ	カイダマシ	h	

## 2010年(改定案) キ星虫以外の無脊椎動物(甲殻類、軟體動物など)

(ア)国外外来種(28種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
むへい 無柄	ブツボ	キタメリカブツボ	A3	19年度細区分同
じゅつきやく 十脚	ザリガニ	ウチダザリガニ	A1	19年度細区分同
じゅつきやく 原始細舌	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	A3	19年度細区分同
ばんそく 盤足	ミツボ	ミスリーニクレイフィッシュ(マーフルクレイ) (シユ)	C	新規
げんしちょうぜつ モノアラガイ	リンゴガイ	スクミリングガイ	C	
げんしちょうぜつ モノアラガイ	カリバガサガイ	コモチカラツボ シマメノウフネガイ	H	
きがん 基眼	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	A3	19年度細区分同
きがん 基眼	モノアラガイ	コシタカヒメモノアラガイ ハブタエモノアラガイ	A3	19年度細区分同
さかまきがい	サカマキガイ	サカマキガイ	H	
さかまきがい	ヒラマキガイ	ヒンドヒラマキガイ	A2	19年度細区分同
オカチヨウジガイ	オカチヨウジガイ	トクサオカチヨウジガイ	E	Aから
オカチヨウジガイ	オカチヨウジガイ	ホンオカチヨウジガイ	C	
コハクガイ	コハクガイ	コハクガイ	A3	19年度細区分同
コウラナメクジ	コウラナメクジ	ウスクチベツコウ	A3	19年度細区分同
コウラナメクジ	コウラナメクジ	コウラナメクジ	A3	19年度細区分同
ハラナメクジ	ハラナメクジ	チャコウラナメクジ ハラナメクジ	A2	19年度細区分同
オナシマイマイ	オナシマイマイ	オナシマイマイ	A3	19年度細区分同
イガイ	イガイ	ムササキガイ	C	Aから
マルスダレガイ	マルスダレガイ	コフロエンカワヒバリガイ カワヒバリガイ	A3	19年度細区分同
きゅうこう 吸盤	きゅうこう 吸盤	淡水産イガイの一種 シジミガイ マルスダレガイ カワホトギスガイ	E	
きゅうこう 吸盤	タマガイ	ホンビノスガイ イガイダマシ サカグロタマツメ	H	新規

## 昆虫以外の無脊椎動物

2004年(現リスト)

(イ)国内外来種(2種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
げんじょうぜつ 原始紐舌	タニシ	ヒメニシ	A	A3へ
しんゆうはい 真有肺	オナジマイマイ	ウスカラマイマイ	A	A3へ

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

(イ)国内外来種(4種)

2010年(改定表)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
げんじょうぜつ 原始紐舌	タニシ	ヒメニシ		A3 19年度細区分同
しんゆうはい 真有肺	オナジマイマイ	ウスカラマイマイ		A3 19年度細区分同
じゅつきやく 十脚	ヌマエビ	ヌマエビ北中部群/ヌマエビ南部群 (カエビ)	A3	新規
		ガリスマエビ属 ジガヌマエビ (ミガヌマエビ)	A3	新規

(ウ)不明(1種)

目名	科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	備考
かいきやく 皆脚目	イソウミグモ	カイヤドリウミグモ	h	新規

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

植物(国外)

2004年(現リス)

(ア) 野外外来種(519種)		科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー	区分	備考
ヤナギ	ウラジロノヤナギ		キンドロ		A	A	
	カライトボラ		カラリナボラ		A	A	
	カリヨウボラ		イタリアボラ、エウロアリガボラ		A		
	セイヨウノコヤナギ		ボラ、クロボラ		A		
	シダレヤナギ				A		
	ヨリヤナギ				A		
	ウンリュウヤナギ				A		
	ニレ				A		
	ニレ				A		
	クワ				A		
タデ	シャクチリソバ		タイマ		A	A	
	タツタシソバ		ヒマヤソバ、シュッシュンソバ		A	B	
	ソバ		ニガソバ		B	B	
	ソバカズラ				A		
	オオツリタドリ				A		
	ツルタデテ		ツルイタドリ		A		
	オオクダクタ		オオベニニタドリ		B		
	ツルドクタ		カシュウ		A		
	ハイミチヤナギ		コヨミミチヤナギ		A		
	ヒメイバ				A		
ヤマゴボウ	ヌマダイオウ				B	B	
	アラチギンギン				B		
	ナガハギンギン				A		
	ミソタオウ				B		
	エゾノギンギン		ヒロハギンギン		A		
	ヤマゴボウ		ヤマゴボウ		A		
	アリカヤマゴボウ		ヨウジヤマゴボウ、イシクベリー		A		
	オシロイバナ		ユウガデショウ		B		
	ザクロソウ				B		
	スペリヒ				A		
ナデシコ	ムギヤセンソウ		ムギナデシコ、ムギナセンソウ		B	B	
	セイヨウミミナグサ		エダウチミミナグサ、カラフトミミナグサ		B		
	オランミミナグサ		アオミミナグサ		A		
	タリンミミナグサ		セラスティウム		B		
	ノハラナデシコ				B		
	ヒグナデシコ		アメカナデシコ、ビジョナデシコ		B		
	セキチク		カラナデシコ		B		
	ヒメナデシコ		オトメナデシコ		B		
	ヌカイトナデシコ		ヤタルヌセンソウ		B		
	アメリカセンソウ		フランネルソウ		B		

2010年(起止率)

(ア) 国外外米種 (586種)		科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー	備考
				区分	区分	
ヤナギ	ウラジロハコヤナギ		キントロ	A3	19年度細区分同	
	カロライナボラ		カロライナボラフ	B	Aから	
	カリフォルニアボラ		カリフォルニアボラフ、エカロアリバボラフ	B	Aから	
	セイヨウハコヤナギ		ボラフ、クロボラフ	B	Aから	
	シダレヤナギ			B	Aから	
	コリヤナギ			B	Aから	
	ワシヌクヤナギ			B	Aから	
	ニレ	ノニレ	マツツクニレ	B	Aから	
	クワ	アサナ	タマナ	A3	19年度細区分同	
		ショウチソバ	ヒマツヤリバ、シヅコソバ	D	Aから	
タデ	タックチソバ		ニカリバ	D	Bから	
	ソバ			B	B	
	ソバカズラ			B	Aから	
	オオソルトイタドリ			B	Aから	
	ツルタデ	ツルイタリ	オオヘニタテ	B	B	
	オオクタデ			D	Aから	
	ツルクタミ		カシユリ	A3	19年度細区分同	
	ハミニヤナギ	ヨコガミチヤナギ		D	Bから	
	ヒメスイバ			D	Bから	
	ヌミダイオウ			D	Bから	
エノキ	アレチキギシ	チヂミスイバ		A3	19年度細区分同	
	ナガバギギシ			D	Bから	
	ミソダイオウ	ヒロハギシキシ		A3	19年度細区分同	
	エノノギシギシ			D	新規	
	ノバラタケ	ノバラタケ		B	Aから	
	ヤマゴボウ	ヨクショヤマゴボウ、イクハリ		B	Aから	
	オシロイバナ	ユケバヨウ		D	Bから	
	ザクロソワ			D	Bから	
	マキバヌマハコベ			B	Aから	
	スベリヒュ	スベリヒュウ		B	新規	
ナデシコ	セキセンソウ	ムキナチシムギナセシソウ		D	Bから	
	セイヨウミナガサ	エタツミナガサ、カラフミナガサ		B	B	
	オランタミナガサ	アモミナガサ		B	Aから	
	タリンミナガサ	セラスティウム		D	Bから	
	ノハラナデシコ			B	B	
	ヒケナデシコ	アメガナデシコヒシシナシテコ		D	Bから	
	セキチク	ガラナデシコ		D	Bから	
	ヒメナデシコ(シロバナヒメナデシコを含む)	ホトカデシコ		B	B	
	ヌカイトナデシコ			B	B	
	アヌカセソウ	ザツルマセソウ		B	B	
ナデシコ	フランネルソウ	スイセソウ		B	B	
	アリトイツメソサ	アライツメソサ、ヨリツツメソサ		B	Aから	
	サボンソウ	シボンソウ		B	Aから	
	シバツメソサ			B	B	
	マツヨイセソウ	ヒロハマソマアズキバランジ		A3	19年度細区分同	
	ムシトリナデシコ	コトリソウ、ハエリナデシコ		A3	19年度細区分同	
	コムギセンソウ	ウツメナデシコ		D	Bから	
	オオシラタマソウ	ホサキナデシコ		D	Aから	
	フタマタマンテヌ			B	Aから	
	アケボノセシソウ			B	Aから	
サクラマツテマ	シロバナマンテヌ			D	Bから	
	ツキミセンソウ			B	Aから	
	サクラマツテマ	フクロナデシコ、オオマツテマ		D	Bから	

# 植物(国外)

(ア)国外外来種(519種)

2004年(現リスト)

科名	種名(種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
ナデシコ	シラタマソウ ノハラツメクサ	シラタマソウ ウスベニツメクサ	A	Aから 19年度細区分同
	ウスベニツメクサ カラフトホリハヨベ	カラフトホリハヨベ	A	B Aから カラフトホリハヨベ
	アフユキハヨベ	アフユキハヨベ	D	A3 19年度細区分同
	トウカソソウ	コハコベ	B	D D
	ホコガタアカザ	トウカソソウ	B	A3 19年度細区分同
	Atriplex nitens Schkuhr. シロザ	ホコガタアカザ シロザ	A	B Bから
アカザ	ケアリソウ	シロアカザ	A	D Aから
	コアカザ	コアカザ	A	B Aから
	ウラジロアカザ	ウラジロアカザ	A	B Aから
	ウスバアカザ	ウスバアカザ	A	B Aから
	ミントアカザ	オオバアカザ、オオアカザ ノコギリアカザ	A	B Aから
	ヒロハヒママアカザ	ヒロハヒママアカザ	B	B B
	ゴウシュウアリソウ	ゴウシュウアリソウ	B	A3 Bから
	イソホウキギ	イソホウキギ	B	B Aから
	ホフキギ	ホフキギ	A	B Aから
	ハリヒジキ	ハリヒジキ	B	D Bから
ヒュ	ヒメシロビュ	シロビュ	A	B 新規
	ホソオゲイトウ	シロビュ	A	B Aから
	ヒュ	ヒュ	A	B Aから
	アオゲイトウ	アカオビュ	A	D Aから
	ホナガイヌビュ	オビビュ	A	A3 19年度細区分同
キンポウゲ	シユウメイギク セイヨウオダマキ ヒメガラシ	キブネギク セイヨウキンポウゲ セイヨウキンポウゲ	B	D Bから
	セイヨウキンポウゲ タマキンポウゲ	アクリスキンポウゲ	B	B B
	タマキンポウゲ	セイヨウキンポウゲ、カブラキンポウゲ	B	B B
	スレレン	タマキンポウゲ	B	B 新規
ケシ	ハコモモ オトギリソウ	フサジュンサイ オオカナダオトリギリ セイヨウオトリギリ	A	A3 19年度細区分同
	ハナビシソウ	コゴメオトリギリ	A	B Aから
	カラクサケマン	カリワルニア・ボビー	A	B Aから
	ナガミヒナゲシ ヒナゲシ	ナガミヒナゲシ ヒナゲシ	D D	D D
	アツミゲシ	タマキンポウゲ	B	B B
	アレチナスナ シロイヌズナ	カブラキンポウゲ セイヨウワサビ	B	B B
アブラナ	セイヨウワサビ ハルサキヤマガラシ	ワサビダイコン、ウマダイコン セイヨウヤマガラシ、フユガラシ	A	A3 19年度細区分同
	ウスユキナズナ	ウスユキナズナ	A	A3 19年度細区分同
	カラシナ セイヨウアブラナ	セイヨウカラシナ チョウセンナタネ	B	B B
	クロガラシ オニハママダイコン	クロガラシ オニハママダイコン	A	A3 19年度細区分同

科名	種名(種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
ナデシコ	シラタマソウ カラフトホリハヨベ	シラタマソウ カラフトホリハヨベ	A	A3 19年度細区分同
	アフユキハヨベ	アフユキハヨベ	D	D D
	トウカソソウ	トウカソソウ	B	B B
	ホコガタアカザ	ホコガタアカザ	A	B Aから
	Atriplex nitens Schkuhr. シロザ	シロアカザ シロザ	B	B Aから
	ケアリソウ	ケアリソウ	A	D Aから
アカザ	コアカザ	コアカザ	A	B Aから
	ウラジロアカザ	ウラジロアカザ	A	B Aから
	ウスバアカザ	ウスバアカザ	A	B Aから
	ミントアカザ	ミントアカザ	A	B Aから
	ヒロハヒママアカザ	ヒロハヒママアカザ	B	B B
	ゴウシュウアリソウ	ゴウシュウアリソウ	B	A3 Bから
	イソホウキギ	イソホウキギ	B	B Aから
	ホフキギ	ホフキギ	A	B Aから
	ハリヒジキ	ハリヒジキ	B	D Bから
	シメジソウ	シメジソウ	B	B 新規
ヒュ	ヒメシロビュ	シロビュ	A	D Aから
	イヌビュ	イヌビュ	A	B Aから
	ホソアオティウ	ホソアオティウ	A	B Aから
	ヒュ	ヒュ	A	D Aから
	アオゲイトウ	アカオビュ	A	A3 19年度細区分同
キンポウゲ	シユウメイギク セイヨウオダマキ ヒメガラシ	キブネギク セイヨウキンポウゲ セイヨウキンポウゲ	B	D Bから
	セイヨウキンポウゲ タマキンポウゲ	アクリスキンポウゲ	B	B B
	タマキンポウゲ	セイヨウキンポウゲ、カブラキンポウゲ	B	B B
	スレレン	タマキンポウゲ	B	B 新規
ケシ	オコロモモ オトギリソウ	フサジュンサイ オオカナダオトリギリ セイヨウオトリギリ	A	A3 19年度細区分同
	ハナビシソウ	コゴメオトリギリ	A	B Aから
	カラクサケマン	カラクサケマン	D D	D D
	ナガミヒナゲシ ヒナゲシ	ナガミヒナゲシ ヒナゲシ	B B	B B
	アツミゲシ	タマキンポウゲ	B	B B
	アレチナスナ シロイヌズナ	カブラキンポウゲ セイヨウワサビ	B	B B
アブラナ	セイヨウワサビ ハルサキヤマガラシ	ワサビダイコン、ウマダイコン セイヨウヤマガラシ、フユガラシ	A	A3 19年度細区分同
	ウスユキナズナ	ウスユキナズナ	A	A3 19年度細区分同
	カラシナ セイヨウアブラナ	セイヨウカラシナ チョウセンナタネ	B	B B
	クロガラシ オニハママダイコン	クロガラシ オニハママダイコン	A	A3 19年度細区分同

植物(国外)

2001年(現リスト)

行 7 國 級 初 級 (五 年 級)

(乙)国外文献摘要(E&G摘要)

2010年(改定案)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
アマナ科	アマナズナ ヒメアマナズナ ナガミアマナズナ ホソミナズナ ミチタネツケハナ コタネツケハナ ニオイアザイトウ ツノミナズナ ナタネハタサオ クジラグサ ロボウガラシ ヒメナズナ オハツキガラシ エゾズシリモドキ ハナズシリモドキ ハナズメダシバナズナ キレハナズナ ウロコナズナ ヒメグンバイナズナ カラクサガラシ ジンノナズナ ゴショウハリク マグエンバイナズナ ニワタナズナ ゴウタナズナ オランダガラシ タマガラシ ショカツサイ セイヨウノダイコン ミヤガラシ ミニイヌガラシ キハイヌガラシ シロガラシ アブラナ科	タマナズナ、マルミノアマナズナ ヒメタマナズナ オオナズナ ヒメホツケハナ ヒメホツケハナ ウオールフロー マルバガラシ、コハシガラシ カラクサハタサオ ホソガラシ キミハタサオ ハナダイコン、セイヨウハナダイコン ミナミグンバイナズナ カラクサニがナ、カラクサナズナ、イン テンナズナ コウベナズナ、セイヨウグンバイナズナ アリツサム ルナリア、ギボセンソウ、ユベンソウ クレシン、ミスカラシ、ミスカラシ タガラシ、ロスケナタホ、ロスケナズナ ハナダイコン、シキンソウ、オオアサヒト ウイ、シキサイ キバナダイコン オニイヌガラシ ヤチイヌガラシ キクガラシ、キカラシ、キカラシ、アリ カラシ ハラガラシ オニイヌガラシ ハタサオガラシ カキネガラシ イヌカキネガラシ クンバイナズナ	A A A A E A A E	(ア)屋外外来種(うち2種)
ベンケイソウ科	ヨーロッパイトゴメ ウスユキマンネングサ ツルマンネングサ	オウシュウマンネングサ シロカネツキ、イソコマツ A B B	B B B	

◎ 世界未解之謎

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分		備考
			区分	区分	
アマナズナ ヒメアマナズナ	タマナスナ、マルミアマナズナ ヒメアマナズナ		B	B	Aから
ナガミノアマナズナ			B	B	Aから
ホソミナズナ	オナズナ		B	B	Aから
ミチネツヅクバナ			B	B	Aから
コタネツヅクバナ	ヒメネツヅクバナ		D	Aから	
ニオイアラセイトウ	オールブリーチ		B	Eから	
ツノミナズナ			B	Aから	
ナタネ、ハサオ	マルハガラシ、ヨハシガラシ		B	Aから	
クリジグサ			B	Aから	
ロボウガラシ	カラクサハサオ		B	Aから	
ヒメアズナ			B	Aから	
オハツキガラシ	ホカラン		B	Eから	
エソスズシロ	キミハサオ		B	Aから	
エゾスズシロモドキ			B	Aから	
ハナスズシロ	ハダイヨ、セイヨウハナダイヨ		B	Aから	
キレハマメグンバイナズナ	ミチケンハイナズナ		B	B	
ウロコナズナ			B	Aから	
コマメグンバイナズナ	ヒメハバクスナ		B	Aから	
カラクサナズナ	カラクサニガナ、カラクサガラシ、イチシナズ	A3	19年度細区分同		
コシミノナズナ			B	Aから	
コシヨウソウ	コムベナズナ、セイヨウハバクスナ	B	B	Aから	
マメグンバイナズナ			B	Aから	
ニワナズナ	アッサム		B	Aから	
コウタソウ	ルナリ、キンセンソウ、ユハントウ	B	Aから		
オランダガラシ	ケルソン、ミスカラシ、ミヌカガラシ	A2	19年度細区分同		
タマガラシ	タカラシ、ロスケナタネ、ロスケナスナ	B	Aから		
ハナダイコン	ヨカツサイ、シキンソウ、オオアラセイトウ、シキンソウ	B	Aから		
セイヨウノダイコン	キハナダイコン	B	Aから		
ミヤガラシ		D	Aから		
ミニイヌガラシ		D	Bから		
キレハイヌガラシ	ヤチイヌガラシ	A3	19年度細区分同		
シロガラシ	キガラシ、キカラシ、キハガラシ、アリカラシ	B	Aから		
ノハラガラシ	オニヌガラシ	B	Aから		
ハサオガラシ		B	Aから		
カキネガラシ	オニナスナ、カキネガラシ	B	Aから		
イヌカキネガラシ		D	Aから		
ケンハイナズナ	ケンハイウチワ	A3	新規		
シロガラシ	ガリガリガラシ				
ヨーロッパイトゴメ	オウシュウアンボングサ	B	B		
ウスユキマンボンゴサ	シロカネツツキ、イコモヤ	B	B		
ツルマンボンゴサ		B	B		
ベンケイソウ					

植物(国外)

2004年(現リスト)

(ア) 野外外来種(519種)		種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー	備考
科名	学名			区分	
ユキノシタ	フサスグリ	アカスグリ、カーランツ、アカフサスグリ	セイヨウスグリ、オオスグリ、ダースベリー	A	
	マルスグリ			A	
	オランダイチゴ		セイヨウイチゴ、ストロベリー	A	
	エンヘビイチゴ		エンノハビイチゴ	A	
	ハイキジムシロ			C	
	エゾノミツモトソウ			A	
	タチロウゲ		オオベヒイチゴ、オオロウゲ	A	
	オキジムシロ			B	
	スマモ			A	
バラ	ロザ・グラウカ		ルブリフオリアバラ	C	
	セイヨウヤバイイチゴ		ブラックベリー	A	
	シンカリキイチゴ		クロミキイチゴ	A	
	エキヤナギ			B	

2010年(古定案)

卷之三

(ア) 國外外米埋(586種)	科名	種名(垂直名:*)	異名	カタゴリー	区分	備考
ユキノシタ	フサスグリ	アカスグリ、カラシツ、アカサスグリ	B	Aから		
	マルスグリ	セイヨウスグリ、オオスグリ、グースベリー	B	Aから		
	オランタイチゴ	セイヨウカチゴ、ストロベリー	B	Aから		
	エンベイチゴ	エジノヒビイチゴ	B	Aから		
	ハイキッシュミドリ		B	Cから		
	エンノノミツモトソウ		A3	19年度細区分同		
	オオヘビイチゴ	好かわげ、オオカゲ	B	Aから		
	オキジムシロ		D	Bから		
	スキモモ		B	Aから		
	ルツボリオリア、ラ		B	Cから		
バラ	セイヨウヤフイチゴ	フツカベリー	A3	19年度細区分同		
	シガカリナギ	アカツクシスベリー	A3	19年度細区分同		
	ユキヤナギ	クリバエニシユ、ロハバキ	A3	新規		
	ツブミキチコ	ワタケツヅクサ	B	Aから		
	イタチハギ	アリカホド	B	Aから		
	クマノアシツメグサ	ゲンデ	D	Cから		
	アリカホド	レスズメ	D	Cから		
	アレチヌスピトイギ	エニニシダ	A3	19年度細区分同		
	ガレガ	ヒロハレンシンソウ	D	Cから		
	ヒロハ	ヒロハレンシンソウ、宿根スイートピー	B	B		
マメ	トガリバツメグサ	セイヨウカシルソウ	D	Bから		
	キバナハレンシンソウ	ヤナギハレンシンソウ	B	Aから		
	ヤナギハレンシンソウ	シベリアヌメドハギ	B	Aから		
	セイヨウミヤコグサ	セイヨウミヤコグサ	A3	19年度細区分同		
	セイヨウミヤコグサ	セイヨウミヤコグサ	B	Aから		
	ネビキミヤコグサ	キバナハツワツマメ	B	Aから		
	ネビキミヤコグサ	ノホリヅ	D	Bから		
	ルピナス	ヌカウカウチワマメ、ノホリヅ、ショコロビニアス	A3	19年度細区分同		
	コバツブウマコヤシ		A3	19年度細区分同		
	コウマコヤシ		D	Bから		
ウマコヤシ	ウマコヤシ	コヤシ、ムマコヤシ	D	Bから		
	ムラサキウマコヤシ	セイヨウカシマコヤシ、アルフルカ、ルーカ	A3	19年度細区分同		
	コシナガワハギ	シロバナシナガワハギ	D	Bから		
	シロバナシナガワハギ	エドハギ	A3	19年度細区分同		
	シナガワハギ	ハリエンシユ	A3	19年度細区分同		
	タマザキサフジ	ニセガシアブジア、タカシア	A2	19年度細区分同		
	シャクマハギ	タマザキサフジ、クラウン、ペッチャ	B	Aから		
	テマリツメグサ	シャクマツメグサ	A3	19年度細区分同		
	クヌダマツメグサ	ホップクローハー、ホップツメグサ、カラハツメグサ	B	Aから		
	コヌツツツメグサ	キバナツツメグサ	B	Aから		
タチオランダシング	タチオランダシング	タチツツメグサ、アルサイクローハー	A3	19年度細区分同		

植物(国外)

2004年(平成16年)

(ア)国外外来種(519種)				
科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
ベニバナツメクサ	ベニバナウマゴヤシ、クリム・シンクローム	B		
オオバノアガツメクサ	ジグザグクローバー	B		
ムラサキツメクサ	アカツメクサ、レッドクローバー	A		
シロツメクサ	オランダウマゴヤシ、オランダケンゲ、ホワイ トローバー	A		
ミニバジツメクサ				
イフキノエンドウ	カラスノエンンドウ	B		
ヒロードクサカブジ	シラクサカブジ、ヘアリーベッチ	A		
マメ				

卷之三

(ア)国外外来種(586種)		科名	種名(亜種名:*)	異名	区分	カテゴリー	備考
マ	ペニバナツメクサ		ペニバナカモヤシ、クリムソクローバー	-	B	B	
	オオバナノアガツメクサ		シグザグクローバー	-	B	B	19年度細区分同
	ムラサキツメクサ		アカツメクサ	オランタウカモヤシ、オランタケンケ、ホワイトクローバー	A2	19年度細区分同	
	シリツメクサ		ミツバツメクサ	ガラスノエンドウ	D	Bから	
	イブキノエンドウ		シリケサフジ(ナヨクサフジを含む)	ヘリーベチ	B	Aから	
	ビロードクサフジ(ナヨクサフジを含む)		モルヒナガ	スズメハ	B	Aから	
	シリツメクサン		ムラサキカタバミ	キヨウカタバミ	B	新規	
	ムラサキカタバミ		キヨウカタバミ	ア3	19年度細区分同		
	メカチカタバミ		シャコウカラフウロ	シャコウカラフウロ	B	B	
	シャコウオランダフウロ		アメリカフウロ	オランダフウロ	B	B	
フ	オランダフウロ		ヤフフウロ	チコフフウロ	B	B	
	ヤフフウロ		ビレホーフフウロ	ヒメフウロ	B	B	
	チコフフウロ		ヒメフウロ	シオキワカロヌコマ	B	Aから	
	ヒメフウロ		ヒメフウロ	シオキワカロヌコマ	B	Aから	
	ヒメフウロ		ヒメフウロ	シオキワカロヌコマ	B	Aから	
ア	アマ		アマ	コニシキソウ	B	Aから	
	トウダイグサ		マツバトウダイ	トスキトウダイ	B	Aから	
	ニガキ		ニワトルシ	シジジュ	A3	19年度細区分同	
	ヒメアギ		ヒロハセネガ	ネグンドカエデ	D	Eから	
	カエデ		フレセンカズラ	トネリコハノカエデ	B	Aから	
	ムクロジ		ハナツリフネソウ	ハナツリフネソウ	B	B	
	ツリフネソウ		オニツリフネソウ	タキバツリフネソウ、ロイルツリフネソウ	A3	19年度細区分同	
	ツドウ		アメカツタ	イチビ	B	Aから	
	イチビ		イチアオイ	キリアサ	A3	19年度細区分同	
	イチアオイ		キンセンカ	チュウロウカ	B	Aから	
オ	キンセンカ		ジャコウアオイ	フルロアオイ	B	Aから	
	ジャコウアオイ		ゼニバアオイ	ハイアオイ	A3	19年度細区分同	
	ゼニバアオイ		ナガエアオイ	ハイアオイ	D	Bから	
	ナガエアオイ		ゼニアオイ	ハイアオイ	B	Aから	
	ゼニアオイ		オカリ	ハイアオイ	D	Bから	
	オカリ		アメリカキヨジカ	ハイアオイ	B	Eから	
	アメリカキヨジカ		ニオイスミレ	キリシア	B	Aから	
	ニオイスミレ		ミツテスミレ	キバズミレ、クリガタミミ	B	B	新規
	ミツテスミレ		アメリカスミレサイシン	ノバラサンシンキスミレ	B	B	新規
	アメリカスミレサイシン		ノバラサンシンキスミレ	サンジキスミレ	B	Aから	
スミレ	ノバラサンシンキスミレ		フイルデンジスミレ	スミレ	B	B	新規
	スミレ		スミレフレグレス	スミレフレグレス	B	B	新規
	スミレフレグレス		アレチウリ	アレチウリ	A3	19年度細区分同	
	アレチウリ		オオスズメウリ	オオスズメウリ	B	B	
	オオスズメウリ		キバズミレ	キバズミレ	B	Aから	

## 植物(国外)

(ア)国外外来種(519種)

2004年(現リスト)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
アカバナ	メマツヨイグサ	アレチマツヨイグサ	A	
	オオマツヨイグサ		A	
	オニマツヨイグサ		B	
	ヒナマツヨイグサ		A	
	ヒルザキヨミソウ		B	
セリ	コマツヨイグサ		B	
	マツヨイグサ		B	
	ツツミタツヨイグサ		B	
	アリノトウグサ		B	
	オオフサモ	ヌマフサモ	A	
モクセイ	イワミツバ	フルスバセリ	A	
	イヌニンジン	ヘムロック	A	
	ドクニンジン	ヨリアンダー	C	
	コエンドロ	ノランジン	A	
	ノランジン		B	
ヒルガオ	アカバナルリハコベ	ベニバナルリハコベ	A	
	サカコザクラ		B	
	コンコンコスピ	ヨウシュコナスピ	A	
	セイヨウキリソウ		B	
	ハナショウブ		A	
ムラサキ	レジギョウ	ビンカ・マヨール	A	
	キヨウチクトウ	ビンカ・ミニーナール	A	
	ヒメツルニチニチソウ	カスミムグラ	A	
	トゲナシヤエムグラ	トゲナシヤエムグラ	A	
	アカネ	ヒナソウ	A	
ムラサキ	ハナヤエムグラ	アカルナムグラ	A	
	ホソバヤナギハナシソブ	ホノハコロミニア	A	
	クサキヨウチクトウ	オイランソウ	A	
	ハナショブ	シバザクラ	A	
	コヒルガオ	ヒメヒルガオ	A	
ムラサキ	セイヨウヒルガオ		B	
	アマダオン		B	
	ツメクサダオシ		B	
	アメリカネシカズラ	コバノアメリカネシカズラ	A	
	アメリカアサガオ	ヒメアサガオ、ヒラミドシアサガオ	A	
ムラサキ	アラグムラサキ	キンバナムラサキ	A	
	ワルタビゴコ		A	
	トデムラサキ		A	
	シベナガムラサキ		A	
	ノムラサキ		A	
ムラサキ	イスムラサキ		B	
	ワスレナグサ	ワスルナグサ、シンワスレナグサ	A	
	ハラムラサキ	ハラワスレナグサ	A	
	ハマワスレナグサ		A	
	ヒナムラサキ		B	

(ア)国外外来種(586種)

2010年(改定系)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	参考
アカバナ	メマツヨイグサ	メマツヨイグサ	A	A3 19年度細区分同
	オオマツヨイグサ	オニマツヨイグサ ヒルザキヨミソウ	A	B B
	オニマツヨイグサ	オオマツヨイグサ	A	A3 19年度細区分同
	ヒナマツヨイグサ	コマツヨイグサ	D	D Bから
	ヒルザキヨミソウ	ヒナマツヨイグサ	B	Aから
セリ	コマツヨイグサ	マツヨイグサ	D	D Bから
	マツヨイグサ	ツツミタツヨイグサ	B	新規
	アリノトウグサ	アレチマツヨイグサ	B	新規
	オオフサモ	オオフサモ	A3	A3 19年度細区分同
	イワミツバ	イワミツバ(フリイワミツバを含む)	A2	19年度細区分同
モクセイ	イヌニンジン	イヌニンジン	A3	19年度細区分同
	ドクニンジン	ドクニンジン	A3	19年度細区分同
	コエンドロ	コエンドロ	B	Cから
	ノランジン	ノランジン	A3	19年度細区分同
	アリノトウグサ	アリノトウグサ	B	新規
サクラソウ	オオフサモ	ヌマフサモ	A	A3 19年度細区分同
	イワミツバ	フルスバセリ	F	フルスバセリ
	コシニンジン	ヘムロック	F	ヘムロック
	ヨリアンダー	コリアンダー	F	コリアンダー
	ノランジン	ノランジン	F	ノランジン
ヒルガオ	アカバナルリハコベ	ベニバナルリハコベ	A	
	サカコザクラ		B	
	コンコンコスピ	ヨウシュコナスピ	A	
	セイヨウキリソウ		B	
	ハナショウブ		A	
ムラサキ	アカバナルリハコベ	ベニバナルリハコベ	A	
	サカコザクラ		B	
	コンコンコスピ	ヨウシュコナスピ	A	
	セイヨウキリソウ		B	
	ハナショウブ		A	
ヒルガオ	レジギョウ	ヘニハナリリバ	A	
	キヨウチクトウ	サカコザクラ	B	
	ツルニチニチソウ	コバシユキワリソウ	B	
	ヒメツルニチニチソウ	カスミムグラ	B	
	トゲナシヤエムグラ	カスミムグラ	B	
アカネ	トゲナシヤエムグラ	トゲナシヤエムグラ	A	
	ヒナソウ	ヒナソウ	A	
	ハナヤエムグラ	アカルナムグラ	A	
	ホソバヤナギハナシソブ	ホノハコロミニア	A	
	クサキヨウチクトウ	クサキヨウチクトウ	A	
ムラサキ	ハナショウブ	オイランソウ	A	
	シバザクラ	オイランソウ	A	
	コヒルガオ	ハナソウ	A	
	セイヨウヒルガオ	ヒメヒルガオ	A	
	アマダオン	セイヨウヒルガオ	A3 19年度細区分同	
ヒルガオ	ツメクサダオシ	ツメクサダオシ	D	D Bから
	アメリカネシカズラ	アメリカネシカズラ	A3	19年度細区分同
	アメリカアサガオ	アメリカアサガオ	B	B Aから
	メメアサガオ	ヒメアサガオ、ヒラミドシアサガオ	B	B Aから
	アラグムラサキ	アラグムラサキ	B	B Aから
ムラサキ	ワルタビゴコ	ワルタビゴコ	D	D Aから
	トデムラサキ	トデムラサキ	B	B Aから
	シベナガムラサキ	シベナガムラサキ	B	B Aから
	ノムラサキ	ノムラサキ	B	B Aから
	イスムラサキ	イスムラサキ	D	D Bから
ムラサキ	ワスレナグサ	ワスルナグサ、シンワスレナグサ	A3	19年度細区分同
	ハラムラサキ	ハラワスレナグサ	A3	19年度細区分同
	ハマワスレナグサ	ハマワスレナグサ	B	Aから
	ヒナムラサキ	ヒナムラサキ	B	Aから

植物(国外)

2004年(現リスト)

國學叢書(三)

2010年(改定案)

(乙)国外来稿(586種)

卷之三

## 植物(国外)

(ア)国外外来種(519種)

2004年(現リスト)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考	カテゴリー区分	異名	カテゴリー区分	備考
ツタバウンラン	ツタカラクサ ジキタリス	ツタバウンラン	A		B	ツタラクサ シキタリス	B	Aから
キツネノテブクロ		キツネノテブクロ	A		A3	ヒメキツネヨウヅ	B	19年度細区分同
ムラサキウンラン	ヒメキンショウ	ムラサキウンラン	A		B		B	Bから
マツバウンラン		マツバウンラン	B		B		B	B
ナナバウンラン		ナナバウンラン	B		B		D	Bから
ヤナギウンラン		ヤナギウンラン	B		D	ホサキウンラン、セイヨウウンラン	B	19年度細区分同
ホソバウンラン	ホザキウンラン、セイヨウウンラン	ホソバウンラン	A		A3		B	Aから
アメリカアゼナ			A		B	アメリカアゼナ	B	Aから
タケトアゼナ			A		B	タケトアゼナ	B	Aから
ニシキミゾホオズキ			B		B	ニシキミゾホオズキ	B	B
アレチキンギヨウ			B		B	アレチキンギヨウ	B	B
クロウンラン	ウンランモドキ	ウンランモドキ	B		D	クロウンランモドキ	B	Bから
ゴマノハグサ	ウスムラサキツリガネヤナギ ナギ	ヒメリガネヤナギ	E		B	ホザキシオガマ	B	B
モワズイカ	ニワタバコ	ニワタバコ	A		D	ヒメリガネヤナギ	D	Eから
ムラサキモウズイカ			B		B	ニワタバコ	B	Aから
ビロードモウズイカ	アイヌタバコ、ニワタバコ	アイヌタバコ	A		D		B	Bから
タチイヌノフグリ			A		A3	アイヌタバコ、ニワタバコ	B	19年度細区分同
カラフトヒヨクソウ			A		B	タチイヌノフグリ	B	Aから
フラサバソウ	ツタバイヌノフグリ	ツタバイヌノフグリ	A		B	カラフトヒヨクソウ	B	Aから
アレチイヌノフグリ			A		B	フラサバソウ	B	Aから
オオイヌノフグリ			A		B	アレチイヌノフグリ	B	Aから
コテングクワガタ			A		B	オオイヌノフグリ	B	Aから
ノウゼンカズラ	キリ	キリ	A		B	コテングクワガタ	B	Aから
オオバコ			A		B	キリ	B	Aから
ツボミオオバコ	オニオオバコ	オニオオバコ	A		A2	ヘラオオバコ	B	新規
ハタザオキキョウ	カシヌマラ	カシヌマラ	B		B	セイヨウオオバコ	B	19年度細区分同
ロベリアツウ	セイヨウミツカクシ	セイヨウミツカクシ	A		B	ツボミオオバコ	B	Aから
オオバナノコギリソウ	カラノコギリソウ	カラノコギリソウ	B		B	タチオオバコ	B	B
キバナノコギリソウ	アルテミス	アルテミス	B		B	リンドウザキカンパヌラ	B	Bから
セイヨウノコギリソウ	ヤロー	ヤロー	A		B	ハタザオキキョウ	B	Bから
ブタクサ			A		B	ロベリアツウ	B	Bから
オオブタクサ	クワモドキ	クワモドキ	A		B	オオバナノコギリソウ	B	B
エソノチコクサ			B		B	キバナノコギリソウ	B	B
キソメカミツレ	アレチカミツル	アレチカミツル	B		D	セイヨウノコギリソウ	B	19年度細区分同
カミツレモドキ	シロカミツル	シロカミツル	A		A3	アルテミス	B	Aから
ゴボウ	ノラゴボウ	ノラゴボウ	A		A3	ヤロー	B	Aから
ニガヨモギ	クリニンジン	クリニンジン	B		A3	マルバツバキバカマ	B	Aから
カラニンジン	ホリバニンジン	ホリバニンジン	B		A2	ブタクサ	B	19年度細区分同
ネワリノギク	アリカシオン	アリカシオン	A		B	ブタクサモドキ	B	Aから
ユウゼンギク	シノリギク、メリケンコンギク	シノリギク、メリケンコンギク	A		B	オオブタクサ	B	19年度細区分同
キタチコンギク			A		B	エゾノチコクサ	B	Aから
ホウキギク	アレチオオン、ホウキジョン、ハサキギ	アレチオオン、ホウキジョン、ハサキギ	A		B	エゾノチコクサモドキ	B	19年度細区分同
ヒナギク	トリハキギク	トリハキギク	A		B	ゴボウ	B	Aから
アメリカセンダングサ	セイタカタウコギ	セイタカタウコギ	A		B	二カヨモギ	B	19年度細区分同
					K	クリニンジン	B	Aから
					K	カカラニンジン	B	19年度細区分同
					K	ネバリノギク	B	19年度細区分同
					K	アリカシオン	B	19年度細区分同
					K	シノリギク	B	19年度細区分同
					K	ユウゼンギク	B	19年度細区分同
					K	キタチコンギク	B	19年度細区分同
					K	ホウキギク	B	19年度細区分同
					K	アレチオオン、ホウキジョン、ハサキギ	B	19年度細区分同
					K	ホウキギク	B	19年度細区分同

## 植物(国外)

### (ア)国外外来種(519種)

2010年(改定案)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
ヤグルマギク	ヤグルマソウ	B	B	Aから
ヤグルマアザミ		B	B	A3 19年度細区分同
クロアザミ		B	B	B
イガヤグルマギク		B	B	B
シロバナムシヨケギク	ダルマヨコギク、シロムシヨケグサ	B	B	B
アカバナムシヨケギク	アカムシヨケギク	B	D	Bから
フランスギク		A	D	Bから
キクニガナ	チコリー	A	B	B
セイヨウムツナザミ	カナダアザミ	A	B	Aから
アメリカオニアザミ	セイヨウオニアザミ、ヒオニアザミ、アメアザミ	A	A3	19年度細区分同
アレチノギク	ナジオウギク	A	A2	19年度細区分同
オオアレチノギク		A	B	Aから
オオキンケイギク	ジャノメギク、ジャノメソウ、クジャケソウ	A	A3	19年度細区分同
ハルシャギク	オオハルシャギク、アキザクラ	A	A3	19年度細区分同
コスモス		A	A3	19年度細区分同
アレチニガナ		A	B	Aから
ヤネビビラヨ	ルリタマアザミ	B	B	Aから
エキノブス	オオボロギク	A	A3	19年度細区分同
ヒメジョン	ヤナギハニメギク	A	B	B
ヒメカシヨモギ	ゴイシソウサ、ツツドウサ、メイシソウ	A	B	Aから
ハルジオン	ハルジョオン、カンザシハナ	A	A3	19年度細区分同
ヤナギハニメジョオン	ヤナギハニメジョオン	A	A3	19年度細区分同
ベラバヒメジョオン		A	B	Aから
マルバフジバカラ		B	B	B
テンニンギク		B	B	B
ハキダメギク		B	B	Aから
コゴメギク		B	A3	19年度細区分同
タチチコグサ	ホソバチコグサモドキ	B	D	Bから
エタウチチコグサ	タチチコグサ	A	B	Aから
ヒメチコグサ	エゾハハコグサ	A	B	Aから
チヨウセンシオン	チヨウセンシヨメナ	A	B	Aから
イヌキイモ	チヨギイモ	A	B	Aから
キクイモ	チヨギイモ	A	A3	19年度細区分同
キクイモモドキ	キクイモモドキ	B	B	B
ヒマワリ	ヒマワリ	A	B	Aから
コウリンタンポポ	エフテギク、エフテタンポポ	A	A2	19年度細区分同
キバナコウリンタンポポ	ハラタシボホ、キバナコウリンタンボボ	A	B	Aから
ブタナ	タンボモドキ	A	D	19年度細区分同
トゲチシャ	アレチシャ、トゲジシャ	A	A2	19年度細区分同
ナタホタビラコ	カラフトヤブタビラコ	A	B	Aから
カミツレ	カモミール、カミール	A	B	Aから
イヌカミツレ	ウイキョウギク、イヌカミツレ	A	A2	19年度細区分同
コシカギク	オロシャギク	A	A2	19年度細区分同
オハハニゴンソウ	アラゲハニゴンソウ	A	B	Aから
ミツバオハシゴンソウ	キヌガサギク	A	A2	19年度細区分同
ノボロギク	オオミツバオハシゴンソウ	A	B	B
ツキヌキオグルマ	ツキヌキオグルマ	B	B	B

キク

キク

# 植物(国外)

2004年(現リスト)

(ア) 国外外来種(519種)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
キク	セイタカラワタチソウ	ヘイザンソウ	A	
	オオアワタチソウ	ヤナギバカリシソウ	A	
	カナダアキキリソウ		A	
	イトニアワタチソウ		A	
	アレチノゲン		A	
	オニノゲン		A	
	ナツシロギク	コシロギク、ナツノコシロギク	B	
	ヨモギギク	タンジー	A	
	アカミタンボ	キレハアカミタンボ	A	
	セイヨウタンボ		A	
キク	バラモンギク	キバナムギナデシコ、キバナザキモジン	B	
	フキンボ	カントウ	A	
	ハチミツソウ	キンミツソウ、ハネミギク	A	
	イガオナモ		A	
	オオオナモ		A	
	トゲオナモ		A	
	オナモ		A	
	コウヤカニシル			
	ハマヨリモ			
	ヒメアサガ			
ユリ	セイヨウニガナ	ナイトウニガナ	A	
	リリスアザミ		A	
	アリカラタガサフロウ		A	
	ホリハビマツリ		A	
	ヒエラギク	ヒロセラ	A	
	キリワタチソウ	アハアカブキヒラニヨリマツリ	A	
	トカガガミ	コカナダモ	A	
	ラッキョウ	オオニラ	B	
	キバナギヨウジャニニク		E	
	ニンニク		B	
ユリ	オランダギカクシ	アスパラガス、マツバナド	A	
	ユキゲユリ		B	
	ドツスズラン	セイヨウスズラン	B	
	バイモ	アミガサユリ	B	
	ルリムスカリ		B	
	オオアマナ	オオツルモ、オオニシガラム	A	
	シラー	フタバツルモ	B	
	スノードロップ	マツユキソウ、ユキノハナ	B	
	スノーブレイク	ハルノマツユキソウ、スズランサイズン、	B	
	ヒガンバナ	オオナツユキソウ、オオマツユキソウ、ナツユキノハナ	B	
ヒガンバナ	ヒガンバナ	ナツユキノハナ	B	
	クチベニズイセン	マツシユウヤダ	B	
	クチベニズイセン	タマスマダ	B	
	サイセン		B	
アヤメ	アヤメ	ナガイモ	A	
	アヤメ	クロツカス	B	

2010年(改定案)

(ア) 国外外来種(586種)

科名	種名(亜種名:*)	カテゴリー区分	異名	カテゴリー区分	備考
キク	ノボロギク		ヘイサンソウ	A3	19年度細区分同
	セイタカラワタチソウ		カナダアキノキリンソウ	A2	19年度細区分同
	カナダアキキリソウ		オオアワタチソウ	B	Aから
	イトニアワタチソウ		イトニアワタチソウ	A2	19年度細区分同
	アレチノゲン		アレチノゲン	B	Aから
	オニノゲン		オニノゲン	B	Aから
	ナツシロギク		ナツシロギク	B	Aから
	ヨモギギク		ヨモギギク	B	Aから
	アカミタンボ		アカミタンボ	B	Aから
	セイヨウタンボ		セイヨウタンボ	A3	19年度細区分同
キク	バラモンギク		バラモンギク	A2	19年度細区分同
	フキンボ		イヌカミツレ	B	B
	ハチミツソウ		フキタノボ	A3	19年度細区分同
	イガオナモ		ハチミツソウ	B	Aから
	オオオナモ		イガオナモ	B	Aから
	トゲオナモ		オオオナモ	A3	19年度細区分同
	オナモ		トゲオナモ	D	Aから
	コウヤカニシル		コウヤカニシル	B	新規
	ハマヨリモ		ハマヨリモ	B	新規
	ヒメアサガ		ヒメアサガ	B	新規
ユリ	セイヨウニガナ		セイヨウニガナ	B	新規
	リリスアザミ		リリスアザミ	B	新規
	アリカラタガサフロウ		アリカラタガサフロウ	B	新規
	ホリハビマツリ		ホリハビマツリ	B	新規
	ヒエラギク		ヒエラギク	B	新規
	キリワタチソウ		キリワタチソウ	B	新規
	トカガガミ		トカガガミ	A3	19年度細区分同
	ラッキョウ		ラッキョウ	D	Bから
	キバナギヨウジャニニク		キバナギヨウジャニニク	B	B
	ニンニク		ニンニク	B	Aから
ユリ	オランダギカクシ		オランダギカクシ	B	Aから
	ユキゲユリ		ユキゲユリ	B	B
	ドツスズラン		ドツスズラン	B	B
	バイモ		バイモ	B	B
	ルリムスカリ		ヤブカンソウ	B	Aから
	オオアマナ		オニユリ	B	Aから
	シラー		ルリムスカリ	D	Bから
	オオアマナ		オオアマナ	B	Aから
	シラー		シラー	B	B
	スノードロップ		スノードロップ	B	新規
ヒガンバナ	スノーブレイク		スノーブレイク	B	新規
	ヒガンバナ		ヒガンバナ	B	新規
	クチベニズイセン		クチベニズイセン	B	新規
	クチベニズイセン		クチベニズイセン	B	新規
アヤメ	ヒガンバナ		ヒガンバナ	B	新規
	クチベニズイセン		クチベニズイセン	B	新規
	スイセン		スイセン	B	新規
	タマスマダ		タマスマダ	B	新規
ヒガンバナ	スノーブレイク		スノーブレイク	B	新規
	ヒガンバナ		ヒガンバナ	B	新規
	クチベニズイセン		クチベニズイセン	B	新規
	スイセン		スイセン	B	新規

# 植物(国外)

(ア)国外外来種(519種)

2010年(改定案)

(ア)国外外来種(586種)		2010年(改定案)	
科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分
			備考
アヤメ	ナガイモ	ムラサキサフラン、ハナサフラン	A
	クロッカス		A
	ドイツアヤメ	ジャーマンアイリス	B
	キショウブ		A
	ニワゼキショウ		E
	ヒトフサニワゼキショウ		A
	ヒメオウキズイセン	モントブレチア	B
	ムラサキツユクサ		A
	ツユクサ	オオムラサキツユクサ	B
	ヤギムギ	ヤギムギ	B
コヌカクサ	ニセコムギダマシ	レッドトップ	A
	ヒメカクサ	ベルベットペント	A
	イトコヌカクサ	ハイランドペント、コモンペント	A
	クロコヌカクサ	ブラックペント	A
	ハイコヌカクサ	クリーピングペント	A
	スカスキ		B
	オススメノテッポウ	メドウフォックスステール、ヨウシャセトガヤ	A
	ヒメハリガヤ		B
	ハリガヤ	スイートハーバルグラス	A
	ハガワリトボンガラ		B
イネ	ホンセイヨウカクサ	マカラスムギ	A
	セイヨウヌカボ	オニカラスマムギ	B
	オオカニツリ	コパンソウ	A
	カラスマムギ	トールオートグラス	B
	ハタカラエンソウ	チャビキ	A
	マカラスムギ	スイクナガイヌムギ	B
	オニカラスマムギ	ブレーリーグラス	A
	カモメノチヤヒキ	オート、オームギ、エンバク	B
	イヌムギ	タワラムギ	A
	ムクゲチヤヒキ	コパンソウ	A
イネ	コスズメノチヤヒキ	コクナガイヌムギ	B
	ハトソノチヤヒキ	マカラスムギ	A
	ハマチヤヒキ	ムクゲチヤヒキ	B
	ハマチヤヒキ	コスズメノチヤヒキ	A
	ヒバリノチヤヒキ	ハトソノチヤヒキ	B
	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	ハマチヤヒキ	A
	カラスノチヤヒキ	ヒバリノチヤヒキ	B
	カモメノチヤヒキ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	A
	ハマチヤヒキ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	B
	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	A
カモガヤ	オオスズメノチヤヒキ	カラスノチヤヒキ	B
	オオキモモ	ハマチヤヒキ	A
	カモメノチヤヒキ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	B
	ノグサ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	A
	ノグサ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	B
	アレチノチヤヒキ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	A
	ウマノチヤヒキ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	B
	ヒメクリノイガ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	A
	クシガヤ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	B
	ヒゲガヤ	ヒゲナガスズメノチヤヒキ	B
シバムギ	オーチャドグラス	オーチャドグラス	A
	ハキダタメガヤ		B
	シバムギ	ヒメカモジダサ、オックグラス	A
	シナダレスズメガヤ	セイタカカゼクサ、ワイピンググラス	A
	シナダレスズメガヤ	コスズメガヤ	B
	コスズメガヤ	オニウシノケグサ	A
	オニウシノケグサ	トルフルスク	B
	オウシュウトボシガラ	オウシュウトボシガラ	A
	ハガフリトボシガラ		B
			B

## 植物(国外)

(ア)国外外来種(519種)

2004年(現リスト)

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
ヒロハノウシノケグサ	メダウフェスク	A		
セイヨウコウボウ		B		
シラゲガヤ	ベルベットグラス、ヨークシャーフォンブル	A		
ヤハネオオムギ	サンダムギ	B		
ホソノグムギ	リスノシップ	A		
ムギクサ		B		
オオムギ	ヨレツオオムギ	B		
ネズミボソムギ		A		
ネズミムギ	イタリアンライグラス、チヤヒキムギ、 ホソムギ	A		
アマドクムギ	ペレニアルライグラス、ライグラス	A		
ボウムギ	トゲシバ、トゲムギ	A		
ドクムギ		A		
ハナクサキビ	キヌイトクサキビ	A		
オオクサキビ		A		
ニコデヌカキビ		A		
クサヨシ	リードカナリーグラス、ボリボクサヨシ	A		
カナリーキサヨシ	ヤリクサヨシ、カナリヤクサヨシ、 カナリーグラス、カナリーサード	B		
ヒメカナリーキサヨシ		B		
オオアワガエリ	チモジーダラス、チモジー、キヌイトク ムカゴイチコツナギ	A		
コイチコツナギ		A		
ヌマイチコツナギ	カナダフルーレグラス	A		
		A		
ナガハグサ	エゾナガハグサ、 ケンタッキーブルーラス、 ヒロハノナガハグサ、ホリハグサ	A		
オスズメノカタビラ	ミズイチコツナギ	A		
ナギナタガヤ	ネズミノシップ、シッポガヤ	B		
		A		
ガマ	モウコガマ	A		
カヤツリグサ	クシロヤガミスゲ アメリカガミスゲ カタガワヤガミスゲ ナガバアメリカミコシガヤ	A		

モウコガマ	A		
カヤツリグサ	クシロヤガミスゲ アメリカガミスゲ カタガワヤガミスゲ ナガバアメリカミコシガヤ	A	
		A	
カヤツリグサ	アメリカガミスゲ	A	
カタガワヤガミスゲ		A	
ナガバアメリカミコシガヤ		A	

科名	種名(亜種名:*)	異名	カテゴリー区分	備考
ヒロハノウシノケグサ	メダウフェスク	A		
セイヨウコウボウ		B		
シラゲガヤ	ベルベットグラス、ヨークシャーフォンブル	A		
ヤハネオオムギ	サンダムギ	B		
ホソノグムギ	リスノシップ	A		
ムギクサ		B		
オオムギ	ヨレツオオムギ	B		
ネズミボソムギ		A		
ネズミムギ	イタリアンライグラス、チヤヒキムギ、 ホソムギ	A		
アマドクムギ	ペレニアルライグラス、ライグラス	A		
ボウムギ	トゲシバ、トゲムギ	A		
ドクムギ		A		
ハナクサキビ	キヌイトクサキビ	A		
オオクサキビ		A		
ニコデヌカキビ		A		
クサヨシ	リードカナリーグラス、ボリボクサヨシ	A		
カナリーキサヨシ	ヤリクサヨシ、カナリヤクサヨシ、 カナリーグラス、カナリーサード	B		
ヒメカナリーキサヨシ		B		
オオアワガエリ	チモジーダラス、チモジー、キヌイトク ムカゴイチコツナギ	A		
コイチコツナギ		A		
ヌマイチコツナギ	カナダフルーレグラス	A		
		A		
ヒメカナリーキサヨシ		B		
オオアワガエリ	エゾナガハグサ、 チモジーダラス、チモジー、キヌイトク ムカゴイチコツナギ	A		
コイチコツナギ		A		
ヌマイチコツナギ	カナダフルーレグラス	A		
		A		
ナガハグサ	エゾナガハグサ、 ケンタッキーブルーラス、 ヒロハノナガハグサ、ホリハグサ	A		
オスズメノカタビラ	ミズイチコツナギ	A		
ナギナタガヤ	ネズミノシップ、シッポガヤ	B		
		A		
ガマ	モウコガマ	A		
カヤツリグサ	クシロヤガミスゲ アメリカガミスゲ カタガワヤガミスゲ ナガバアメリカミコシガヤ	A		

カヤツリグサ	アメリカガミスゲ	A		
カタガワヤガミスゲ		A		
ナガバアメリカミコシガヤ		A		
		A		
イチヨウ	モウコガマ	A		
スカケノキ	クシロヤガミスゲ カタガワヤガミスゲ ナガバアメリカミコシガヤ	A		
フウチヨウソウ		A		
ブナ	モウコガマ	A		
	ヨーロッパトウヒ ヨーロッパマツ ヨーロッパカマツ ヨーロッパヒマツ	A		
マツ		B		
ミズアオイ	モウコガマ	A		
リンドウ	モウコガマ	B		

イネ  
イネ

# 植物(国内)

(イ) 国内(31種)

2004年(旧リスト)

科名	種名(亜種名:*)	別名	カテゴリー区分	備考
マツ	カラマツ		A	
	チヨウセンゴヨウ	チヨウセンマツ	B	
カラノキ	オオノヤシャブシ		A	
タデ	イタドリ		A	
ナデシコ	マツモトセンノウ	マツモト	B	
メリ	ハイカカリソウ		B	
ドクダミ	ドクダミ		A	
ツバメノスズクサ	フタバオイ	フタバサイン、カモアオイ	B	
アブラン	ワサビ	アブラン	A	
ユキノシタ	ウツギ	ウノハナ	A	
バラ	ヤマブキ		A	
マメ	ニワフジ		B	
	マルハギ		A	
	ミヤギノハギ		A	
ブドウ	ブジ	ノダフジ	A	
スイカスラ	ヤカラシ	ビンボウカラスラ	A	
キキョウ	ハコネツツギ	ソバナ	A	
	ソバナ	マルハシャジン	A	
	ホタルブクロ	ソバナ	A	
ヒメモモギ		ホタルブクロ	A	
ヨモギ	カズサヨモギ		A	
キク	ヤフヨモギ	フンヨモモギ	A	
	キクタニギク	アブコガネギク、アブラギク	B	
	ユウガギク	ユウガギク	B	
フキ	キヨウフキ	キクタニギク	A	
ユリ	ニラ	アブコガネギク、アブコガネ	B	
	クサスギカラスラ	ミヤコヨモギ、ミヤコヨモギ	B	
ユリ	ヤマユリ	ミヤコヨモギ	B	
ヒガシバナ	ヤブラン	ミヤコヨモギ	D	
イネ	キツネノミソリ	ミヤコヨモギ	B	
	アズマネヂサ	ミヤコヨモギ	B	

2010年(改定案)

(イ) 国内(49種)

科名	種名(亜種名:*)	別名	カテゴリー区分	備考
マツ	カラマツ	カラマツ	B	Aから
	チヨウセンゴヨウ	チヨウセンマツ	B	B
カラノキ	オオノヤシャブシ	オオノヤシャブシ	B	Aから
タデ	イタドリ	イタドリ	A	19年度細区分同
ナデシコ	マツモトセンノウ	マツモト	B	D
メリ	ハイカカリソウ	ハイカカリソウ	B	B
ドクダミ	ドクダミ	ドクダミ	B	B
ツバメノスズクサ	フタバオイ	フタバサイン、カモアオイ	B	19年度細区分同
アブラン	ワサビ	アブラン	A	B
ユキノシタ	ウツギ	ウノハナ	A	Aから
バラ	ヤマブキ	ヤマブキ	B	B
マメ	ニワフジ	ニワフジ	B	Aから
	マルハギ	マルハギ	A	A
	ミヤギノハギ	ミヤギノハギ	B	Aから
ブドウ	ブジ	ブジ	A	A
スイカスラ	ヤカラシ	ビンボウカラスラ	A	19年度細区分同
キキョウ	ハコネツツギ	ハコネツツギ	B	Aから
	ソバナ	ソバナ	B	Aから
	ホタルブクロ	ホタルブクロ	B	Aから
ヨモギ	カズサヨモギ	カズサヨモギ	B	19年度細区分同
キク	ヤフヨモギ	ヤフヨモギ	A	A
	キクタニギク	アブコガネギク、アブラギク	B	19年度細区分同
	ユウガギク	ユウガギク	B	Aから
フキ	キヨウフキ	キヨウフキ	B	B
ユリ	ニラ	ミヤコヨモギ	B	新規
	クサスギカラスラ	ミヤコヨモギ	B	Aから
ユリ	ヤマユリ	ミヤコヨモギ	B	新規
ヒガシバナ	ヤブラン	ミヤコヨモギ	B	新規
イネ	キツネノミソリ	ミヤコヨモギ	B	新規
	アズマネヂサ	ミヤコヨモギ	B	新規

# 植物(不明)

(ウ)不明(48種)

2004年(現リスト)

科名	種名(亜種名:*)	異名	区分	カテゴリー	区分	カテゴリー	備考
タデ	オオイヌタデ		A	在来種へ	D	不明Bから	
	イヌタデ		A	在来種へ	B	新規	
	イシミカワ		A	在来種へ	D	不明Bから	
	ミチヤナギ	ニワヤナギ	A	在来種へ	B	不明Aから	
ホソバタデ	サツマタデ		B	不明へ			
コガネギヨジギ	ミリギヨジギ		A	在来種へ			
スペリヒュ	スベリヒュ		A	在来種へ			
ナデシコ	ミミナグサ		A	在来種へ			
ヒユ	ウシハコベ		A	在来種へ			
キンポウゲ	コハコベ	ハコベ	A	国外へ			
	イヌビュ	ビュ	A	国外へ			
オダマキ	オダマキ		A	国外へ			
アブラナ	オバオウレン		B	不明へ			
アブラナ	イヌナズナ		A	国外へ			
カタバミ	ハマダイコン		A	在来種へ			
カタバミ	カタバミ		A	在来種へ			
トウダイグサ	エノキグサ	アミガサソウ	A	在来種へ			
ミツガシワ	アサザ	アサザ	A	国外へ			
ナス	ヨウジユショウセンアサガオ	シロバナチヨウセンアサガオ	A	国外へ			
オオハコ	イヌホオズキ	イヌホオズキ	A	国外へ			
キキヨウ	リンドウ	リンドウ	A	在来種へ			
ゴマナハグサ	ホザキシオガマ		B	国外へ			
ムシクサ	ムシクサ		B	国外へ			
オオハコ	オオハコ	オオハコ	A	在来種へ			
キキヨウ	リンドウ	リンドウ	A	国外へ			
エゾノキツネアザミ	エゾノキツネアザミ		A	在来種へ			
カントウヨメナ	カントウヨメナ		B	在来種へ			
キク	Leontodon autumnalis	カフリタンボモドキ属	B	国外へ			
メナモミ			A	在来種へ			
ハチジョウナ			A	在来種へ			
ノヂミ			A	在来種へ			
ユリ	ヤフクンヅワ	オニカンヅワ	A	国外へ			
	オニユリ	オニユリ	A	国外へ			
コオニユリ	コオニユリ	コオニユリ	A	国外へ			
ヤマノイモ	ヤマノイモ	アカヒトラユリ	A	在来種へ			
アヤメ	ハナショウブ		B	国外へ			
イグサ	クサイ		A	在来種へ			
ツユクサ	ツユクサ		A	在来種へ			
	スズメノテッポウ		A	在来種へ			
	カズノコクサ	ミコメ	A	在来種へ			
	スズメノチャヒキ		A	不明へ			
	メビシバ		A	在来種へ			
	アキハシバ		A	在来種へ			
イネ	イヌビエ		A	在来種へ			
	オオウシノクサ	クリーピングフェスク、レッドフェスク	A	国外へ			
	スズメノカタビラ		A	在来種へ			
	キンエノコロ		A	在来種へ			
	エノコログサ		A	在来種へ			
	コムギ		A	国外へ			

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

2010年(改定表)

科名	種名(亜種名:*)	異名	区分	カテゴリー	区分	カテゴリー	備考
タデ	ホソバタデ	ホソバタデ	A	在来種へ	D	不明Bから	
	キンポウゲ	フジツボタデ	A	在来種へ	B	新規	
	イネ	オダマキ	A	在来種へ	D	不明Bから	
		スズメノチャヒキ	A	在来種へ	B	不明Aから	

(\*)亜種が問題となっている場合は、カッコ内に亜種名を記載

## カテゴリーA1～A3リスト(H22.3選定)

区分	分類	種名	被害の実態・おそれ	道内分布	外来生物法※1	世界ワースト100※2	日本ワースト100※3	備考
A1	哺乳類 ミニク	アライグマ	在来種との競合、駆逐、農業等被害、人への健康被害	道内132市町村	特定	特定	○	
	哺乳類 ブルーントラウト		在来種との競合、駆逐、捕食、農業等被害	道内全域	特定	○	○	
	魚類 ギル		在来種との競合、駆逐、捕食、交雑	函館	特定	特定	○	
	魚類 セイヨウオオマルハナバチ		在来種との競合、駆逐、捕食	道内全域	特定	特定	○	
	昆蟲 サザリガニ		在来種との競合、駆逐、捕食、ミズカビ病の媒介	道内各地	特定	特定	○	
	無脊類 ニホンイタチ		在来種との競合、駆逐、捕食、農業等被害	道内全域	特定	特定	○	
A2	哺乳類 テン		在来種との競合、駆逐、捕食、農業等被害	道央、道南				
	爬虫類 アカミガメ(ミヅシヒアカミガメ)		在来種との競合、駆逐、捕食	札幌、帯広など	要注意	○	○	
	両生類 ウシガエル		在来種との競合、駆逐、捕食	道南	特定	特定	○	
	魚類 ニジマス		在来種との競合、駆逐、交雫	道内ほぼ全域	要注意	○	○	
	魚類 カワマス		在来種との競合、駆逐	空知川水系など	要注意			
	昆蟲 カブトムシ		在来種との競合、駆逐	道内全域				
A3	無脊椎 チャコウラナメクジ		在来種との競合、駆逐、農業被害、寄生虫媒介	道南、道央				
	無脊椎 サカマキガイ		在来種との競合、駆逐、農業被害、寄生虫媒介	道南、道央				
	植物 オオハンゴンソウ		在来植物との競合、駆逐、大群落を形成	道内全域	特定	特定	○	
	植物 オオアワダチソウ		在来植物との競合、駆逐、大群落を形成	道内全域	要注意	要注意	○	
	植物 アメリカオニアザザミ		在来植物との競合、駆逐	道内全域	要注意	要注意	○	
	植物 セイヨウタンボドポ		在来植物との競合、駆逐	道内全域(道東少)	要注意	要注意		
	植物 ヘラオオバコ		在来植物との競合、駆逐、花粉症の原因	道内全域(道東少)	要注意	要注意		
	植物 ブタナ		在来植物との競合、駆逐	道内全域(道東少)	要注意	要注意		
	植物 コウリンタンボドポ		在来植物との競合、駆逐	道内全域				
	植物 ムラサキツメクサ		在来植物との競合、駆逐	道内全域				
	植物 シロツメクサ		在来植物との競合、駆逐	道内全域				
	植物 フランスキ		在来植物との競合、駆逐	道内全域				
	植物 ブタクサ		在来植物との競合、駆逐、花粉症の原因	南西部に多い	要注意			
	植物 イワミツバ		在来植物との競合、駆逐、大群落を形成	道内各地に点在				
	植物 ハリエンジユ		在来植物との競合、駆逐、環境壊乱	道内全域	要注意	○		
	植物 キショウブ		在来植物との競合、駆逐	道内各地	要注意	○		
	植物 オランダガラシ		在来植物との競合、駆逐	道内各地に点在	要注意			
	植物 キバナコウリソウ		在来植物との競合、駆逐	札幌周辺など	要注意	○		
A3	上記以外の193種							

※植物については、原植生が比較的明確でその学術的価値が高く、保護が優先されるべき地域内(原生自然環境保全地域、国立・国定公園特別保護地区など)においては、A2ランクの植物についてもA1とみなしそう除対策を推進する

※1 外来生物法「特定」→特定外来生物  
「要注意」→要注意外来生物

※2 世界の侵略的外来種ワースト100

※3 日本の侵襲的外来種ワースト100

## 北海道ブルーリスト2010概要版（案）について

前回のリスト同様、北海道ブルーリスト2010の概要版を作成し、HPへの掲載を関係機関団体等に通知する。

概要版については、次の内容とする。

北海道ブルーリスト2004	北海道ブルーリスト2010
1 リスト作成の背景と目的	1 リスト <u>改訂</u> の背景と目的 * 2004作成時の経緯等にもふれる。
2 リストの選定について  選定の体制(委員名簿、協力者名簿)  検討のスケジュール等  選定の考え方、カテゴリー区分の考え方	2 リストの選定について  同左  同左  選定の考え方、カテゴリー区分・ <u>細区分</u> の考え方
3 外来種リストの選定結果  概要、分類群別の種数の表  —  各分類群毎のリスト  種の分類等の根拠出典	3 外来種リストの選定結果  同左  A1、A2リストの表  同左  種の分類等の根拠出典
4 選定種の解説例（個表の例）  ①アライグマ ②カワラバトまたはドバト ③アカミミガメ(ミシシッピアカミミガメ) ④トノサマガエル ⑤オオクチバス ⑥カブトムシ	4 選定種の解説例（個表の例）  ①アライグマ ②ミンク ③ブラウントラウト ④ブルーギル ⑤セイヨウオオマルハナバチ ⑥ウチダザリガニ ⑦オオハンゴンソウ ⑧ブタクサ

\*資料3の選定種の解説例（個表の例）は、当ホームページで御確認ください。

## 北海道ブルーリスト2010の活用（案）について

外来種対策が効率的に推進されるようホームページでリストを公表するとともに、関係機関・団体への通知や広報等により広くリストの改訂を周知する。

また、外来種対策を効率的に進めていくため次の取組みも行う。

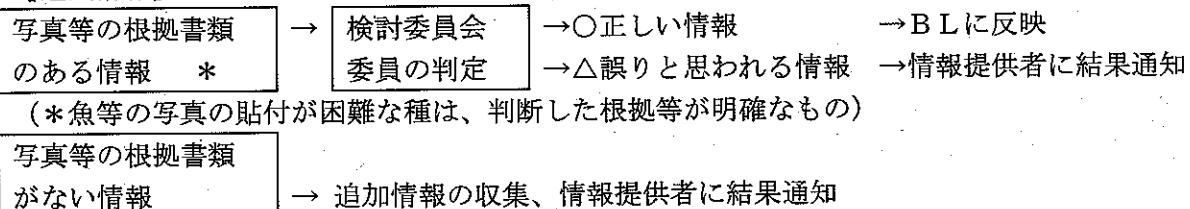
### 1 A1、A2種の新規分布情報の収集

外来種の分布推移等を適切に把握し、効率的な対策に資するよう同ホームページを活用し、道民にA1、A2種の新規分布情報の提供を呼びかける。

なお、提供いただいた分布情報については、適宜、ブルーリストに反映させる。

### A1、A2種の新規分布情報のBL反映フロー

#### 【道民情報】



### 2 防除イベント開催等のお知らせ

道民参加を促進するため、同ホームページを活用し、関係機関団体が実施するイベントの開催等をお知らせする。

### 3 外来種に対する普及啓発

同リスト改訂を周知し、外来種問題に対する道民理解を深めるため、研修会やパネル展を開催するなど啓発活動を行う。